

INDEX

非サポート機能 **37-8**

数字	非サルート機能 3/-8
3A 1	IPv6
10 ギガビット イーサネット インターフェイス 14-7	一致条件 39-3
14-7	インターフェイスへの適用 39-8
802.1AE	サポートしない機能 39-3
標準 12-2	サポート対象 39-3
802.1x-REV 12-2	スタッキング 39-3
	制限 39-3
A	設定 39-4, 39-5
	名前付き 39-3
AAA ダウン ポリシー、NAC レイヤ 2 IP 検証 1-14	表示 39-9
ABR 42-28	他の機能との相互作用 39-4
ACE	優先 39-2
IP 37-2	MAC 拡張 37-30, 38-55
QoS と 38-8	QoS 38-7, 38-50
イーサネット 37-2	QoS クラス マップごとの数 38-39
定義済み 37-2	QoS のトラフィックを分類する 38-50
ACL	VLAN マップ
ACE 37-2	設定時の注意事項 37-34
IP	設定する 37-33
暗黙の拒否 37-11, 37-16, 37-18	VLAN マップでルータ ACL を使用する 37-42
暗黙のマスク 37-11	エントリの並べ替え 37-16
一致基準 37-9	拡張 IP、QoS 分類を設定する 38-52
作成する 37-8	拡張 IPv4
フラグメントと QoS の注意事項 38-39	一致基準 37-9
未定義 37-23	作成する 37-12
IPv4	コメント 37-20
一致基準 37-9	コンパイルする 37-25
インターフェイスに対して適用する 37-21	サポート 1-12
作成する 37-8	サポートされるタイプ 37-3
数 37-9	サポートしない機能
端末回線、設定する 37-21	IPv4 37-8
名前付き 37-16	IPv6 39-3

時間範囲 37-18	AS、BGP 内 42-52
照合 37-8, 37-23	ASBR 42-28
定義済み 37-2, 37-8	AS パス フィルタ、BGP 42-59
適用する	Auto-MDIX
QoS に対する 38-7	設定する 14-34
インターフェイスに対する 37-21, 39-8	説明 14-33
時間範囲 37-18	Autonomous System Boundary Router
スイッチド パケットでの 37-43	「ASBR」を参照
ブリッジド パケットでの 37-44	
マルチキャスト パケットでの 37-45	В
ルーテッド パケットでの 37-45	В
名前 39-4	BackboneFast
名前付き	イネーブルにする 22-17
IPv4 37-16	サポート 1-10
IPv6 39-3	説明 22-7
ハードウェアとソフトウェアの処理 37-23	ディセーブルにする 22-17
ハードウェアでのサポート 37-23	Berkeley r-tool の置換 10-57
標準 IP、QoS 分類を設定する 38-51, 38-53	BGP
標準 IPv4	CIDR 42-65
一致基準 37-9	clear コマンド 42-68
作成する 37-11	Multi-VRF CE によるルーティング セッショ
ポート 37-3, 39-2	→ 42-90
モニタリング 37-46, 39-9	show コマンド 42-68
優先順位 37-3	イネーブル化 42-52
ルータ 37-3, 39-2	コミュニティ フィルタリング 42-61
ルータ ACL と VLAN マップの設定時の注意事	サポート 1-17
項 37-42	集約アドレス 42-65
例 37-25, 38-50	集約ルート、設定 42-65
レイヤ 4 情報 37-43	スーパーネット 42-65
ロギング メッセージ 37-10	セッションのリセット 42-54
AC (コマンド スイッチ) 6-10	説明 42-48
ARP	デフォルト設定 42-49
カプセル化 42-12	ネイバー、タイプ 42-52
スタティック キャッシュの設定 42-11	ネイバーの設定 42-63
設定 42-11	バージョン 4 42-49
定義済み 1-8, 7-24, 42-11	パス選択 42-56
テーブル	ピア、設定 42-63
アドレス解決 7-24	プレフィクス フィルタリング 42-60
管理する 7-24	マルチパス サポート 42-56

モニタリング 42-68	説明 28-1
ルーティング ドメイン連合 42-66	送信タイマーとホールドタイム、設定する 28-2
ルート ダンプニング 42-67	デフォルト設定 28-2
ルートマップ 42-58	電力ネゴシエーションの拡張機能 14-8
ルート リフレクタ 42-66	モニタリング 28-5
BPDU	ルーティング デバイスをディセーブルにする 28-4
errdisable ステート 22-2	レイヤ 2 プロトコル トンネリング 19-8
RSTP 形式 21-13	CEF
フィルタリング 22-3	distributed 42-96
BPDU ガード	IPv6 43-20
イネーブルにする 22-14	定義 42-95
サポート 1-10	CE デバイス内の Multi-VRF
説明 22-2	「Multi-VRF CE」を参照
ディセーブルにする 22-15	CGMP
BPDU フィルタリング	IGMP スヌーピング ラーニング方式としての 26-9
イネーブルにする 22-15	概要 49-10
サポート 1-10	サーバ サポート機能 49-10
説明 22-3	サーバ サポートのイネーブル化 49-47
ディセーブルにする 22-16	スイッチ サポート 1-5
broadcast storm-control コマンド 29-4	マルチキャスト グループに加入する 26-3
	CIDR 42-65
<u> </u>	CipherSuite 10-52
С	Cisco 7960 IP 電話 17-1
CA トラストポイント	Cisco Discovery Protocol
設定する 10-53	「CDP」を参照
定義済み 10-51	Cisco Group Management Protocol
CDP	「CGMP」を参照
LLDP での定義 30-1	Cisco IOS DHCP サーバ
アップデート 28-2	「DHCP、Cisco IOS DHCP サーバ データベース」を
イネーブルとディセーブル	参照
インターフェイス上で 28-4	Cisco IOS File System
スイッチ上で 28-4	「IFS」を参照
概要 28-1	Cisco IOS IP SLA 45-2
サポート 1-8	Cisco Redundant Power System 2300
信頼境界と 38-46	管理する 14-46
スイッチ クラスタでの自動検出 6-5	設定する 14-46
スイッチ スタックの考慮事項 28-2	Cisco Secure ACS
設定する 28-2	ダウンロード可能な ACL の属性と値のペア 11-20
	リダイレクト URL の属性と値のペア 11-20

Cisco StackWise Plus テクノロジー 1-3	Client Information Signalling Protocol
「スタック」も参照、スイッチ	「CISP」を参照
Cisco TrustSec	CLNS
クレデンシャル 12-11	「ISO CLNS」を参照
スイッチ間セキュリティ	CNS
802.1x モード 12-12	Configuration Engine
設定例 12-17	イベント サービス 3-3
スイッチ間のセキュリティ	コンフィギュレーション サービス 3-2
手動モード 12-14	設定 ID、デバイス ID、ホスト名 3-3
Cisco TrustSec MACsec 12-9	説明 3-1
Cisco TrustSec ネットワーク デバイス アドミッション コ	管理機能 1-7
ントロール	組み込みエージェント
「NDAC」を参照	イベント エージェントをイネーブルにする 3-8
CiscoWorks 2000 1-7, 35-4	自動設定をイネーブルにする 3-7
Cisco インテリジェント電力管理 14-8	設定エージェントをイネーブルにする 3-9
CISP 11-32	説明 3-5
CIST リージョナル ルート	CoA 要求コマンド 10-23
「MSTP」を参照	configure terminal コマンド 14-20
CISTルート	CoS
「MSTP」を参照	オーバーライド プライオリティ 17-7
CLI	信頼のプライオリティ 17-7
エラー メッセージ 2-5	レイヤ2フレームでの 38-2
クラスタを管理する 6-16	CoS/DSCP マップ、QoS での 38-77
コマンド出力のフィルタリング 2-10	CoS 出力キューしきい値マップ、OoS の 38-21
コマンドの no 形式と default 形式 2-4	CPU 使用率、トラブルシューティング 52-30
コマンドモード 2-1	crashinfo ファイル 52-25
コンフィギュレーション ロギング 2-5	Customer Edge デバイス 42-81
説明 1-7	CWDM SFP 1-38
短縮コマンド 2-4	
ヘルプを使用する 2-3	
編集機能	D
イネーブルとディセーブル 2-7	DACL
キーストローク編集 2-7	
ラップされた行 2-9	「ダウンロード可能 ACL」を参照 Default Router Preference
履歴	
コマンドを呼び出す 2-6	「DRP」を参照
説明 2-6	default コマンド 2-4
ディセーブルにする 2-7	description コマンド 14-39

バッファ サイズを変更する 2-6

DHCP	DHCP スヌーピング
Cisco IOS サーバ データベース	Option 82 データ挿入 24-3
設定する 24-15	信頼済みインターフェイス 24-3
説明 24-6	設定時の注意事項 24-9
デフォルト設定 24-9	デフォルト設定 24-8
IPv6 用 DHCP	バインディング データベース
「DHCPv6」を参照	「DHCP スヌーピング バインディング データベー
イネーブル化	ス」を参照
サーバ 24-10	非信頼インターフェイス 24-3
イネーブルにする	非信頼パケット形式エッジ スイッチを受信す る 24-3, 24-13
リレー エージェント 24-11	非信頼メッセージ 24-2
DHCP Option 82	プライベート VLAN の 24-14
回線 ID サブオプション 24-5	メッセージ交換プロセス 24-4
概要 24-3	DHCP スヌーピング バインディング データベース
パケット形式、サブオプション	イネーブルにする 24-15
回線 ID 24-5	エージェント統計情報をクリアする 24-16
リモート ID 24-5	エントリ 24-6
リモート ID サブオプション 24-5	削除する
DHCPv6	データベース エージェント 24-16
DHCPv6 サーバ機能をイネーブルにする 43-17	バインディング 24-16
クライアント機能をイネーブルにする 43-19	バインディング ファイル 24-16
設定ガイドライン 43-17	設定時の注意事項 24-10
説明 43-6	設定する 24-15
デフォルト設定 43-17	説明 24-13
DHCP オブジェクト トラッキング、プライマリ インター	データベースを更新する 24-16
フェイスの設定 47-11	デフォルト設定 24-8, 24-9
DHCP オプション 82	バインディング 24-6
設定時の注意事項 24-9	バインティンク 24-0 バインディング ファイル
デフォルト設定 24-8	バインティング ファイル 形式 24-7
転送アドレス、指定する 24-11	形式 24-7 場所 24-6
表示する 24-16	<i>物</i> 別 24-0 バインディングを追加する 24-15
ヘルパー アドレス 24-11	リセットする
DHCP サーバ ポートベースのアドレス割り当て	
イネーブルにする 24-28	タイムアウト値 24-16
設定時の注意事項 24-28	遅延値 24-16 DHCP スヌーピング バインディング テーブル
説明 24-27	
デフォルト設定 24-28	「DHCP スヌーピング バインディング データベース」 を参照
表示する 24-30, 25-13	

予約アドレス **24-29**

DHCP バインディング データベース	DRP
「DHCP スヌーピング バインディング データベース」 を参照	IPv6 43-5 設定 43-14
DHCP バインディング テーブル	説明 43-5
「DHCP スヌーピング バインディング データベース」 を参照	DSCP 1-15 , 1-16 , 38-2
DHCP ベースの自動設定	DSCP/CoS マップ、QoS での 38-80
BOOTP との関係 4-4	1-15, 1-16, 38-2
概要 4-3	DSCP/DSCP 変換マップ、QoS での 38-81
クライアント要求メッセージの交換 4-4	DSCP 出力キューしきい値マップ、QoS の 38-21
サポート 1-7	DSCP の透過性 38-47
設定	DTP 1-11, 15-16
サーバ側 24-10	DUAL 有限状態マシン、EIGRP 42-40 DVMRP
設定する DNS 4-8	DVMRP ルータへの PIM ドメインの接続 49-53
	mrinfo 要求、応答 49-56
TFTP サーバ 4-8	概要 49-9
クライアント側 4-4	サポート 1-18
サーバ側 4-7 リレー デバイス 4-9	自動サマライズ
	サマリー アドレスの設定 49-61
リース オプション	ディセーブル化 49-64
IP アドレス情報 4-7	相互運用性
設定ファイルを受信する 4-7	Cisco IOS ソフトウェアとの 49-10
リレー サポート 1-7, 1-18	シスコ デバイスとの 49-51
例 4-11 DHCP ベースの自動設定とイメージ アップデート	送信元配信ツリー、構築 49-10
概要 4-5 ~ 4-6	トンネル
	設定 49-53
設定する 4-12 ~ 4-15	ネイバー情報の表示 49-56
diagnostic schedule コマンド 53-2	ネイバー
distribute-list コマンド 42-108 DNS	情報の表示 49-56
DHCP ベースの自動設定と 4-8	デフォルト ルートのアドバタイズ 49-56
IPv6 での 43-4	非プルーニングとのピアリングの禁止 49-59
概要 7-8	非プルーニングの拒否 49-58
似 タ /-6 サポート 1-7	プローブ メッセージによる検出 49-51
設定する 7-9	ユニキャスト ルーティングのイネーブル化 49-57
設定を表示する 7-10	ルーティング テーブル 49-10
がたであかりる 7-10 デフォルト設定 7-9	ルート
DNS ベースの SSM マッピング 49-20, 49-22	MBONE に入る個数の制限 49-60
dot1q-tunnel switchport モード 15-17	Syslog メッセージのしきい値の変更 49-60
dotry-tunner switchport 2 17 13-17	すべてのアドバタイズ 49-64

dynamic desirable trunking モード 15-17	ネイバーへのデフォルト ルートのアドバタイ	ポート プライオリティ 40-23
慢先度 49-64 ユニキャストルートアドバタイズの制 腰 49-51 レボートメッセージで取得された DVMRP ルートのキャッシューの格納 49-57 dynamic auto trunking モード 15-17 dynamic desirable trunking モード 15-17 dynamic Host Configuration Protocol 「DHCP ペースの自動設定」を参照 Dynamic Trunking Protocol(ダイナミックトランキングプロトコル) 「DTP」を参照 E E E E E E E E E E E E E		他の機能との相互動作 40-8
ユニキャストルートアドバタイズの制		ホット スタンバイ ポート 40-22
世 49-51 レボートメッセージで取得された DVMRP ルートのキャッシュへの格約 49-57 dynamic auto trunking モード 15-17 dynamic desirable trunking モード 15-17 dynamic Host Configuration Protocol 「DHCP ベースの自動設定」を参照 Dynamic Trunking Protocol (ダイナミックトランキングプロトコル) 「DTP」を参照 E E E E E E E E G A C C B C C C C C C C C C C		モード 40-8
レボートメッセージで取得された DVMRP ルートのキャッシュへの格納 49-57 (仮想メイッチとの相互動作 40-6 (仮想メイッチとの相互動作 40-6 (仮想メイッチとの相互動作 40-6 (仮想メイッチとの相互動作 40-6 (のである)		PAgP
中のキャッシュへの格納 49-57 (仮想スイッチとの相互動作 40-6 dynamic auto trunking モード 15-17 サポート 1-5 サポート 1-6 サポート 1-6 サポート 1-6 サポート 1-6 サポート 1-6 サポート 1-7 ロリカー 1-5 ロカー 1-5		学習方式とプライオリティの設定 40-20
対の細mic desirable trunking モード 15-17		仮想スイッチとの相互動作 40-6
Dynamic Host Configuration Protocol 「DHCP ベースの自動設定」を参照 Dynamic Trunking Protocol(ダイナミックトランキング プロトコル) 「DTP」を参照 E E E E EBGP 42-47 「EBGP」を参照 EEGRP 12-47 「EBGP」を参照 EEGRP 42-47 「EBGP」を参照 EEGRP 42-47 「EBGP」を参照 EE 3.2 36-5 EIGRP 14-17 スタブルーティング 42-46 設定 42-43 定義 42-39 サボート 1-17 スタブルーティング 42-46 設定 42-43 定義 42-43 定義 42-43 定義 42-43 定義 42-43 に義 42-43 に義 42-45 モニタリング 42-47 EIGRP IPv6 43-8 ELIN ロケーション 30-3 error-disabled ステート、BPDU 22-2 EtherChannel IEEE 802.3ad、説明 40-7 LACP システム プライオリティ 40-23 ステータスを表示する 40-24 説明 40-4 ルイヤ 2 インターフェイス 40-14 レイヤ 3 効理インターフェイス 40-17 レイヤ 3 ボートチャネル論理インターフェイス 70・バインディング 40-4 参門付け 40-4 参門インターフェイスと論理インターフェイスの 70・バインディング 40・11 転送方式 40・9、40・20 ボート グループ 14・7 ボートチャネル 1-7 ボートチャネル 40・20 ボート グループ 14・7 ボートチャネル インターフェイス 42・5	dynamic auto trunking $\pm - \mathbb{F}$ 15-17	サポート 1-5
「DHCP ベースの自動設定」を参照 Dynamic Trunking Protocol(ダイナミックトランキング プロトコル) 「DTP」を参照 EBGP 42-47 「EBGP」を参照 EBGP 42-47 「EBGP」を参照 EEM 3.2 36-5 EIGRP インターフェイスパラメータ、設定 42-44 コンボーネント 42-39 サポート 1-17 スタダブルーティング 42-46 設定 42-43 定義 42-39 デフォルト設定 42-40 認証 42-45 モニタリング 42-47 EIGRP IPv6 43-8 ELIN ロケーション 30-3 error-disabled ステート、BPDU 22-2 EtherChannel IEEE 802.3ad、説明 40-7 LACP システム プライオリティ 40-23 ステータスを表示する 40-24	dynamic desirable trunking $\forall - \rangle$ 15-17	集約ポート ラーナー 40-20
Dynamic Trunking Protocol (ダイナミックトランキング プロトコル) 「DTP」を参照 モード 40-6 地元 機能との相互動作 40-7 モード 40-6 サポート 1-5 自動作成 40-5, 40-7 スタックの変更、影響 40-10 ステータスを表示する 40-24 設定時の注意事項 40-12 設定する レイヤ 2 インターフェイス グラメータ、設定 42-44 レイヤ 3 物理インターフェイス 40-14 レイヤ 3 物理インターフェイス 40-17 エスダブルーティング 42-46 設定 42-43 東京 42-49 関連 40-2 財産 42-40 ボート グループ 番号付け 40-4 物理インターフェイスの バインディング 40-4 デフォルト設定 42-40 ボート グループ 番号付け 40-4 ボート グループ 14-7 ボート ブループ 14-7 ボート デャネル インターフェイス 20-11 転送方式 40-9, 40-20 ボート グループ 14-7 ボート デャネル インターフェイス 説明 40-4 番号付け 40-4 本号付け 40-4 エーターフェイス 22-5 セード 23-7 カーフェイス 42-5	Dynamic Host Configuration Protocol	ステータスを表示する 40-24
(世の機能との相互動作 40-7	「DHCP ベースの自動設定」を参照	説明 40-5
E	Dynamic Trunking Protocol (ダイナミック トランキング	デュアルアクションの検出での 40-6
世ポート 1-5 自動作成 40-5, 40-7 スタックの変更、影響 40-10 ステータスを表示する 40-24 管EBGP」を参照 EEM 3.2 36-5 EIGRP インターフェイス パラメータ、設定 42-44 ロンボーネント 42-39 サポート 1-17 スタブルーティング 42-46 設定 42-43 定義 42-39 デフォルト設定 42-40 認証 42-45 モニタリング 42-47 EIGRP IPV6 43-8 ELIN ロケーション 30-3 error-disabled ステート、BPDU 22-2 EtherChannel IEEE 802.3ad、説明 40-7 LACP システム プライオリティ 40-23 ステータスを表示する 40-24	プロトコル)	他の機能との相互動作 40-7
EBGP 42-47 「EBGP」を参照 EEGRP 23-40-10 ステータスを表示する 40-24 でEBGP」を参照 EEM 3.2 36-5 EIGRP 24-47 インターフェイスパラメータ、設定 42-44 ロンポーネント 42-39 サポート 1-17 スタブルーティング 42-46 設定 42-43 定義 42-39 デフォルト設定 42-40 認証 42-45 モニタリング 42-47 EIGRP IPV6 43-8 ELIN ロケーション 30-3 error-disabled ステート、BPDU 22-2 EtherChannel IEEE 802.3ad、説明 40-7 LACP システム プライオリティ 40-23 ステータスを表示する 40-24 自動作成 40-5, 40-7 スタックの変更、影響 40-10 ステータスを表示する 40-12 脱定時の注意事項 40-12 レイヤ 2 インターフェイス 40-14 レイヤ 3 ポートチャネル論理インターフェイス 40-17 ルイヤ 3 ポートチャネル論理インターフェイス 40-16 説明 40-2 相互動作 STPでの 40-12 VLAN での 40-13 チャネル グループ 番号付け 40-4 物理インターフェイスと論理インターフェイスの バインディング 40-4 デフォルト設定 40-11 転送方式 40-9, 40-20 ポート グループ 14-7 ボートチャネル インターフェイス 説明 40-4 番号付け 40-4 レイヤ 3 インターフェイス 42-5	「DTP」を参照	モード 40-6
EBGP 42-47 「EBGP」を参照 EEM 3.2 36-5 EIGRP インターフェイス パラメータ、設定 42-44 ロンボーネント 42-39 サポート 1-17 スタブ ルーティング 42-46 設定 42-43 定義 42-39 デフォルト設定 42-40 認証 42-45 モニタリング 42-47 EIGRP IPv6 43-8 ELIN ロケーション 30-3 error-disabled ステート、BPDU 22-2 EtherChannel IEEE 802.3ad、説明 40-7 LACP システム プライオリティ 40-23 ステータスを表示する 40-24 フィータスを表示する 40-24 設定 42-47		サポート 1-5
EBGP 42-47 「EBGP」を参照 EEM 3.2 36-5 EIGRP インターフェイス パラメータ、設定 42-44 コンポーネント 42-39 サポート 1-17 スタブ ルーティング 42-46 設定 42-43 定義 42-39 デフォルト設定 42-40 認証 42-45 モニタリング 42-47 EIGRP IPV6 43-8 ELIN ロケーション 30-3 error-disabled ステート、BPDU 22-2 EtherChannel IEEE 802.3ad、説明 40-7 LACP システム プライオリティ 40-23 ステータスを表示する 40-24 ステータスを表示する 40-24 お空 40-4 設定 40-4 大イヤ 2 インターフェイス 40-14 レイヤ 3 ポートチャネル論理インターフェイス 40-16 説明 40-2 相互動作 STP での 40-12 VLAN での 40-13 チャネル グループ 番号付け 40-4 物理インターフェイスと論理インターフェイスの バインディング 40-4 転送方式 40-9, 40-20 ボート グループ 14-7 ボートチャネル インターフェイス 説明 40-4 番号付け 40-4 レイヤ 3 インターフェイス 42-5		自動作成 40-5, 40-7
TEBGP	_	スタックの変更、影響 40-10
EEM 3.2 36-5 EIGRP インターフェイス パラメータ、設定 42-44 ロンポーネント 42-39 サポート 1-17 スタブルーティング 42-46 設定 42-43 定義 42-39 デフォルト設定 42-40 認証 42-45 モニタリング 42-47 EIGRP IPv6 43-8 ELIN ロケーション 30-3 error-disabled ステート、BPDU 22-2 EtherChannel IEEE 802.3ad、説明 40-7 LACP システム プライオリティ 40-23 ステータスを表示する 40-24 Description	EBGP 42-47	ステータスを表示する 40-24
EIGRP インターフェイス パラメータ、設定 42-44 ロンポーネント 42-39 サポート 1-17 スタブルーティング 42-46 設定 42-43 定義 42-39 デフォルト設定 42-40 認証 42-45 モニタリング 42-47 EIGRP IPv6 43-8 ELIN ロケーション 30-3 error-disabled ステート、BPDU 22-2 EtherChannel IEEE 802.3ad、説明 40-7 LACP システム プライオリティ 40-23 ステータスを表示する 40-24	「EBGP」を参照	設定時の注意事項 40-12
インターフェイス バラメータ、設定 42-44 コンポーネント 42-39 サポート 1-17 スタブルーティング 42-46 設定 42-43 定義 42-39 デフォルト設定 42-40 認証 42-45 モニタリング 42-47 EIGRP IPv6 43-8 ELIN ロケーション 30-3 error-disabled ステート、BPDU 22-2 EtherChannel IEEE 802.3ad、説明 40-7 LACP システム プライオリティ 40-23 ステータスを表示する 40-24	EEM 3.2 36-5	設定する
コンポーネント 42-39 サポート 1-17 スタブルーティング 42-46 設定 42-43 定義 42-39 デフォルト設定 42-40 認証 42-45 モニタリング 42-47 EIGRP IPv6 43-8 ELIN ロケーション 30-3 error-disabled ステート、BPDU 22-2 EtherChannel IEEE 802.3ad、説明 40-7 LACP システム プライオリティ 40-23 ステータスを表示する 40-24	EIGRP	レイヤ 2 インターフェイス 40-14
サポート 1-17 スタブルーティング 42-46 設定 42-43 定義 42-39 デフォルト設定 42-40 認証 42-45 モニタリング 42-47 EIGRP IPv6 43-8 ELIN ロケーション 30-3 error-disabled ステート、BPDU 22-2 EtherChannel IEEE 802.3ad、説明 40-7 LACP システム プライオリティ 40-23 ステータスを表示する 40-24	インターフェイス パラメータ、設定 42-44	レイヤ 3 物理インターフェイス 40-17
説明 40-2 設定 42-43 定義 42-39 デフォルト設定 42-40 認証 42-45 モニタリング 42-47 EIGRP IPv6 43-8 ELIN ロケーション 30-3 error-disabled ステート、BPDU 22-2 EtherChannel IEEE 802.3ad、説明 40-7 LACP システム プライオリティ 40-23 ステータスを表示する 40-24	コンポーネント 42-39	レイヤ 3 ポートチャネル論理インターフェイ
設定 42-43 定義 42-39 デフォルト設定 42-40 認証 42-45 モニタリング 42-47 EIGRP IPv6 43-8 ELIN ロケーション 30-3 error-disabled ステート、BPDU 22-2 EtherChannel IEEE 802.3ad、説明 40-7 LACP システム プライオリティ 40-23 ステータスを表示する 40-24	サポート 1-17	ス 40-16
定義 42-39 デフォルト設定 42-40 認証 42-45 モニタリング 42-47 EIGRP IPv6 43-8 ELIN ロケーション 30-3 error-disabled ステート、BPDU 22-2 EtherChannel IEEE 802.3ad、説明 40-7 LACP システム プライオリティ 40-23 ステータスを表示する 40-24	スタブ ルーティング 42-46	説明 40-2
デフォルト設定 42-40 認証 42-45 モニタリング 42-47 EIGRP IPv6 43-8 ELIN ロケーション 30-3 error-disabled ステート、BPDU 22-2 EtherChannel IEEE 802.3ad、説明 40-7 LACP システム プライオリティ 40-23 ステータスを表示する 40-24	設定 42-43	相互動作
認証 42-45 モニタリング 42-47 EIGRP IPv6 43-8 ELIN ロケーション 30-3 error-disabled ステート、BPDU 22-2 EtherChannel IEEE 802.3ad、説明 40-7 LACP システム プライオリティ 40-23 ステータスを表示する 40-24 デヤネル グループ 番号付け 40-4 物理インターフェイスと論理インターフェイスの バインディング 40-4 ボフォルト設定 40-11 転送方式 40-9, 40-20 ポート グループ 14-7 ポートチャネル インターフェイス 説明 40-4 番号付け 40-4 レイヤ 3 インターフェイス 42-5	定義 42-39	STP での 40-12
世紀 42-45 モニタリング 42-47 EIGRP IPv6 43-8 ELIN ロケーション 30-3 error-disabled ステート、BPDU 22-2 EtherChannel IEEE 802.3ad、説明 40-7 LACP システム プライオリティ 40-23 ステータスを表示する 40-24	デフォルト設定 42-40	VLAN での 40-13
EIGRP IPv6 43-8 物理インターフェイスと論理インターフェイスの バインディング 40-4 デフォルト設定 40-11 転送方式 40-9, 40-20 ポート グループ 14-7 ポートチャネル インターフェイス 説明 40-4 システム プライオリティ 40-23 ステータスを表示する 40-24 番号付け 40-4 レイヤ 3 インターフェイス 42-5	認証 42-45	チャネル グループ
ELIN ロケーション 30-3 error-disabled ステート、BPDU 22-2 EtherChannel IEEE 802.3ad、説明 40-7 LACP システム プライオリティ 40-23 ステータスを表示する 40-24 バインディング 40-4 デフォルト設定 40-11 転送方式 40-9, 40-20 ポート グループ 14-7 ポートチャネル インターフェイス 説明 40-4 番号付け 40-4 レイヤ 3 インターフェイス 42-5	モニタリング 42-47	番号付け 40-4
error-disabled ステート、BPDU 22-2	EIGRP IPv6 43-8	物理インターフェイスと論理インターフェイスの バインディング 40-4
EtherChannel IEEE 802.3ad、説明 40-7 LACP システム プライオリティ 40-23 ステータスを表示する 40-24 転送方式 40-9, 40-20 ポート グループ 14-7 ポートチャネル インターフェイス 説明 40-4 番号付け 40-4 レイヤ 3 インターフェイス 42-5		デフォルト設定 40-11
IEEE 802.3ad、説明 40-7 LACP ポート グループ 14-7 ポートチャネル インターフェイス 説明 40-4 エテータスを表示する 40-24 ロイヤ 3 インターフェイス 42-5		転送方式 40-9, 40-20
LACP ポートチャネル インターフェイス システム プライオリティ 40-23 ステータスを表示する 40-24		ポート グループ 14-7
ジステム プライオリティ 40-23		ポートチャネル インターフェイス
番号付け 40-4 ステータスを表示する 40-24 レイヤ 3 インターフェイス 42-5		説明 40-4
レイヤ 3 インターフェイス 42-5		番号付け 40-4
	スアーダスを表示する 40-24	レイヤ 3 インターフェイス 42-5

ロード バランシング 40-9, 40-20	Flex Link での VLAN ロード バランシング
論理インターフェイス、説明 40-4	説明 23-3
EtherChannel ガード	Flex Link マルチキャスト高速コンバージェンス 23-3
イネーブルにする 22-18	FTP
説明 22-10	イメージファイル
ディセーブルにする 22-18	アップロードする A-35
EUI 43-4	サーバを準備する A-31
Express Setup 1-2	ダウンロードする A-33
「スタートアップ ガイド」も参照	古いイメージを削除する A-35
Extensible Authentication Protocol over LAN 11-2	設定ファイル
	アップロードする A-16
	概要 A-13
F	サーバを準備する A-14
FaO ポート	ダウンロードする A-15
「イーサネット管理ポート」を参照	
fastethernet0 ポート	
「イーサネット管理ポート」を参照	G
Fast Uplink Transition Protocol 22-6	get-next-request オペレーション 35-4
FIB 42-96	get-next-request オペレーション 35-4
Flexible NetFlow	GUI
インターフェイス設定 46-8	「デバイス マネージャと Network Assistant」を参照
インクーフェイへ設定 46-6 エクスポータの設定 46-5	「アバイスマネーラヤと Network Assistant」を参照
エクスポートされた設定 46-3	
コンポーネント 46-1	Н
サポートされていない機能 46-2	1 11 7 7 7
サンプリング 46-9	hello タイム MSTP 21-24
フロー モニタの設定 46-6	STP 20-23
フロー レコードの設定 46-3	
目的 46-1	Hot Standby Router Protocol(ホットスタンバイ ルータ プロトコル)
Flex Link	「HSRP」を参照
VLAN 23-3	HP OpenView 1-7
VLAN ロード バランシングを設定する 23-11	HSRP
	ICMP リダイレクト メッセージのサポート 44-12
設定 23-9, 23-10 説明 23-1	オブジェクト トラッキング 47-7
デフォルト設定 23-9	概要 44-1
ナンオルト設定 23-9 モニタリング 23-14	「クラスタ」、「クラスタ スタンバイ グループ」、「スタ
モークリンク 23-14 優先 VLAN の設定 23-12	ンバイ コマンド スイッチ」も参照
愛元 VLAN の 設た 23-12 リンク ロード バランシング 23-3	クラスタ グループにバインド 44-13
y ν γ μ ー Γ ハ / ν ν ν γ / 23-3	クラスタ スタンバイ グループの考慮事項 6-11

コマンド スイッチの冗長性 1-2, 1-9	ICMP Router Discovery Protocol
自動クラスタ回復 6-13	「IRDP」を参照
スイッチ スタックの考慮事項 44-5	ICMPv6 43-4
設定 44-5	ICMP エコー動作
タイマー 44-11	IP SLA 45-11
注意事項 44-6	設定する 45-11
定義 44-1	IDS 装置
デフォルト設定 44-5	入力 RSPAN と 32-25
トラッキング 44-8	入力 SPAN と 32-16
認証ストリング 44-11	IEEE 802.1D
プライオリティ 44-8	「STP」を参照
モニタリング 44-13	IEEE 802.1p 17-1
ルーティングの冗長性 1-17	IEEE 802.1Q
HTTP over SSL	カプセル化 15-16
「HTTPS」を参照	設定の制限 15-18
HTTPS	その他の機能を含むトンネル ポート 19-6
自己署名証明書 10-51	タグなしトラフィック用ネイティブ VLAN 15-23
設定する 10-54	トランク ポートと 14-4
説明 10-50	トンネリング
HTTP セキュア サーバ 10-50	説明 19-2
	デフォルト 19-4
	— 他の機能との互換性 19-6
	IEEE 802.1s
IBGP	「MSTP」を参照
「IBGP」を参照	IEEE 802.1w
IBPG 42-47	「RSTP」を参照
ICMP	IEEE 802.1x
IPv6 43-4	「ポートベース認証」を参照
traceroute と 52-18	IEEE 802.3ad
サポート 1-17	「EtherChannel」を参照
時間超過メッセージ 52-18	IEEE 802.3af
到達不能と ACL 37-23	「PoE」を参照
到達不能メッセージ 37-22	IEEE 802.3x フロー制御 14-32
到達不能メッセージおよび IPv6 39-4	ifIndex 値、SNMP 35-6
リダイレクト メッセージ 42-14	IFS 1-8
ICMP ping	IGMP
概要 52-15	join メッセージ 26-3
実行する 52-16	概要 49-3

クエリー 26-4	IGMP スヌーピング
グループへのアクセスの制御 49-42	VLAN の設定 26-8
高速スイッチング 49-46	アドレス エイリアス設定 26-2
サポート 1-5	イネーブルとディセーブル 26-8, 27-7
サポートされるバージョン 26-3	クエリア
スイッチの設定	設定時の注意事項 26-15
グループのメンバとして 49-41	設定する 26-15
静的に接続されたメンバ 49-46	グローバル設定 26-8
設定可能な脱退タイマー	サポート 1-6
イネーブルにする 26-12	サポートされるバージョン 26-3
説明 26-6	スイッチ スタックでの 26-7
脱退処理、イネーブルにする 26-11, 27-9	スタックの変更と 26-7
デフォルト設定 49-41	設定 26-7
バージョン 1	即時脱退 26-6
説明 49-3	定義 26-2
バージョン 2 への変更 49-43	デフォルト設定 26-7, 27-6
バージョン 2	方式 26-9
クエリー タイムアウト値 49-44	モニタリング 26-17, 27-12
グループのプルーニング 49-45	IGMP スロットリング
最大クエリー応答時間値 49-45	アクションを表示する 26-31
説明 49-4	設定する 26-29
バージョン 1 への変更 49-43	説明 26-26
フラッディングしたマルチキャスト トラフィック	デフォルト設定 26-26
インターフェイス上でディセーブルにす	IGMP 即時脱退
る 26-14	イネーブルにする 26-11
クエリー送信要求 26-13	設定時の注意事項 26-12
グローバルな脱退 26-13 時間の長さな期間する 26-13	説明 26-6
時間の長さを制御する 26-13 フラッディング モードから回復する 26-13	IGMP フィルタリング
ホストクエリー インターバル、変更 49-44	サポート 1-6
マルチキャスト グループから脱退する 26-5	設定する 26-27
マルチキャスト グループに加入する 26-3	説明 26-25
マルチキャストの到達可能性 49-41	デフォルト設定 26-26
レポート抑制	IGMP プロファイル
説明 26-6	コンフィギュレーション モード 26-27
ディセーブルにする 26-16, 27-12	設定する 26-27
IGMP グループ	適用する 26-28
最大番号を設定する 26-29	IGMP ヘルパー 49-6
フィルタリングを設定する 26-29	IGP 42-28
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	interfaces range macro コマンド 14-23

Interior Gateway Protocol	ネットワーク パフォーマンスを測定する 45-3
「IGP」を参照	モニタリング 45-13
Internet Group Management Protocol(インターネット グループ管理プロトコル)	利点 45-2 IP traceroute
「IGMP」を参照	概要 52-18
Internet Protocol version 6	
「IPv6」を参照	実行する 52-19 IPv4 ACL
IP ACL	インターフェイスに対して適用する 37-21
QoS 分類の 38-7	カラーフェイスに対して週出する 37-21 拡張、作成する 37-12
暗黙の拒否 37-11, 37-16	名前付き 37-16
暗黙のマスク 37-11	標準、作成する 37-11
名前付き 37-16	保事、IF成する 37-11 IPv6
未定義 37-23	ACL
ip cef distributed コマンド 42-96	precedence 39-2
ip igmp profile コマンド 26-27	一致条件 39-3
IP precedence 38-2	サポート対象 39-3
IP precedence/DSCP マップ、QoS での 38-78	制限 39-3
IP SLA	表示 39-9
ICMP エコー動作 45-11	ポート 39-2
SNMP サポート 45-2	ルータ 39-2
UDP ジッタ動作 45-8	CEFv6 43-20
応答側	Default Router Preference (DRP) 43-5
イネーブルにする 45-7	Enhanced Interior Gateway Routing Protocol
説明 45-4	(EIGRP) IPv6 43-8
応答時間 45-4	EIGRP IPv6 コマンド 43-8
オブジェクト トラッキング 47-9	ルータ ID 43-8
オブジェクト トラッキングの設定 47-9	ICMP 43-4
オブジェクト モニタリング エージェントの追跡、設	OSPF 43-7
定 47-11	SDM テンプレート 8-3, 27-1, 39-1
サポートされるメトリック 45-2	アドレス 43-2
しきい値のモニタリング 45-6	アドレス フォーマット 43-2
スケジューリング 45-5	アドレスを割り当てる 43-12
制御プロトコル 45-4	アプリケーション 43-5
設定時の注意事項 45-6	機能の制限 43-10
定義 45-1	サポート機能 43-3
デフォルト設定 45-6	自動設定 43-5
動作 45-3	スイッチ スタックと 43-11
到達可能性トラッキング 47-9	スイッチの制限 43-10
トラック ステート 47-9	スタック マスター機能 43-11

ディセーブル化 **24-21** スタティック ルートの概要 43-7 IP ソース ガード ステートレス自動設定 43-5 定義済み 43-1 802.1x **24-20** DHCP スヌーピングと 24-17 デフォルト設定 43-12 転送する 43-12 EtherChannels & 24-20 TCAM エントリと 24-20 ネイバー探索 43-4 パス MTU 探索 43-4 VRF & 24-20 非サポート機能 43-9 スタティック バインディング モニタリング 43-28 削除する 24-21 IPv6 による HTTP (S) 43-9 追加する 24-20, 24-22 IPv6 Ø HSRP スタティック ホスト 24-22 設定 43-26 設定時の注意事項 24-19 注意事項 43-25 説明 24-17 IP アドレス 送信元 IP アドレスと MAC アドレスのフィルタリン グ 24-18 128 ビット 43-2 送信元 IP アドレスのフィルタリング 24-17 IPv6 **43-2** デフォルト設定 24-19 「IP 情報」も参照 トランク インターフェイスと 24-19 IP ルーティング **42-6** バインディング設定 MAC アドレス アソシエーション 42-11 自動的な 24-17 クラス 42-7 手動での 24-17 クラスタアクセス 6-2 バインディング テーブル 24-17 検出する 7-24 表示する 候補またはメンバ 6-4, 6-13 設定 24-27 コマンド スイッチ **6-3**, **6-11**, **6-13** バインディング 24-27 冗長クラスタ 6-11 フィルタリング スタンバイ コマンド スイッチ 6-11, 6-13 送信元 IP アドレス **24-17** デフォルト設定 42-7 送信元 IP アドレスと MAC アドレス 24-18 モニタリング 42-20 プライベート VLAN の 24-20 IP サービス フィーチャ セット 1-2 ポート セキュリティと 24-19 IP サービス レベル契約 ルーテッド ポートと 24-19 「IP SLA」を参照 IP ダイレクト ブロードキャスト 42-16 IP サービス レベル、分析する 45-1 IP 電話 IP 情報 QoS でポート セキュリティを確立する 38-46 デフォルト設定 4-3 QoS & 17-1 割り当て QoS の信頼境界 38-46 DHCP ベースの自動設定を介して 4-4 自動分類とキューイング 38-23 手動で 4-16 設定する 17-5 IP 送信元ガード IP ブロードキャスト アドレス 42-18 イネーブル化 **24-20, 24-22**

IP プロトコル	グループ /RP マッピング
ルーティング 1-17	BSR 49-7
IP ベース ソフトウェア イメージ 1-1	自動 RP 49-7
IP ベース フィーチャ セット 1-2	シスコの実装 49-2
IP ポート セキュリティ、スタティック ホスト用	自動 RP
PVLAN ホスト ポートでの 24-25	BSR による使用 49-36
レイヤ 2 アクセス ポート 24-21	概要 49-7
IP マルチキャスト ルーティング	既存の SM クラウドへの追加 49-27
「CGMP」も参照	候補 RP スプーフィングの禁止 49-30
「DVMRP」も参照	新規インターネットワークでの設定 49-27
IGMP スヌーピングと 26-2	設定時の注意事項 49-13
「IGMP」も参照 MBONE	着信 RP アナウンスメント メッセージのフィルクリング 49-30
sdr キャッシュ エントリの存在期間の制限 49-48	問題のある RP への Join メッセージの送信禁 止 49-30
sdr リスナー サポート機能のイネーブル	利点 49-27
化 49-48	スタッキング
Session Directory(sdr)ツール、説明 49-48	スタック マスターの機能 49-10
アドバタイズされる DVMRP ルートの制	スタック メンバの機能 49-10
限 49-60	設定
会議セッション アナウンスメント用の SAP パ ケット 49-48	IP マルチキャスト境界 49-49
説明 49-48	基本的なマルチキャスト ルーティング 49-13
PIMv1 および PIMv2 の相互運用性 49-12	デフォルト設定 49-11
「PIM」も参照	統計情報、システムおよびネットワークの表示 49-66
RP	ブート ストラップ ルータ
PIMv2 BSR の設定 49-32	IP マルチキャスト境界の定義 49-33
自動 RP および BSR の使用 49-36	PIM ドメイン境界の定義 49-32
自動 RP の設定 49-27	概要 49-7
手動での割り当て 49-25	候補 BSR の設定 49-34
マッピング情報のモニタリング 49-37	候補 RP の設定 49-35
アドレス	自動 RP による使用 49-36
すべてのマルチキャストルータ 49-3	設定時の注意事項 49-13
全ホスト 49-3	プロトコルの動作 49-2
ホストグループアドレス範囲 49-3	マルチキャスト転送、説明 49-8
イネーブル化	IP ユニキャスト ルーティング
PIM モード 49-14	ARP 42-11
管理用スコープの境界、説明 49-49	「BGP」も参照
逆経路チェック(RPF) 49-8	「EIGRP」も参照

EtherChannel レイヤ 3 インターフェイス 42-5	ストーム 42-16
IGP 42-28	パケット 42-16
IPv6 43-3	フラッディング 42-19
IP アドレス指定	プロキシ ARP 42-11
クラス 42-7	プロトコル
設定 42-6	ダイナミック 42-3
IRDP 42-14	ディスタンスベクトル 42-3
MAC アドレスおよび IP アドレス 42-10	リンクステート 42-3
「OSPF」も参照	ユニキャスト逆経路転送 1-18, 42-95
「RIP」も参照	ルーテッド ポート 42-5
SVI を使用 42-5	レイヤ 3 インターフェイス 42-5
UDP 42-18	レイヤ 3 インターフェイスへの IP アドレスの割り当
VLAN 間 42-2	₹ 42-8
アドミニストレーティブ ディスタンス 42-98 ,	IP ルーティング
42-109	イネーブル化 42-21
アドレス解決 42-11	インターフェイスを接続する 14-14
イネーブル化 42-21	ディセーブル化 42-21
逆アドレス解決 42-11	IP ルート、モニタリング 42-111
クラスレス ルーティング 42-9	IRDP
再配信 42-100	サポート 1-17
サブネットゼロ 42-8	設定 42-14
サブネットマスク 42-8	定義 42-14
受動インターフェイス 42-108	IS-IS
スーパーネット 42-9	show コマンド 42-79
スタティック ルーティング 42-3	アドレス 42-69
スタティック ルートの設定 42-98	エリア ルーティング 42-69
設定する手順 42-6	システム ルーティング 42-69
ダイナミック ルーティング 42-3	デフォルト設定 42-71
ダイレクト ブロードキャスト 42-16	モニタリング 42-79
ディセーブル化 42-21	ISL
デフォルト	IEEE 802.1 トンネリングによるトランキング 19-5
アドレス指定の設定 42-7	IPv6 & 43-3
ゲートウェイ 42-14	カプセル化 1-11, 15-16
ネットワーク 42-99	トランク ポートと 14-4
ルーティング 42-3	ISO CLNS
ルート 42-99	clear コマンド 42-79
認証キー 42-110	NET 42-69
ブロードキャスト	NSAP 42-69
アドレス 42-18	

OSI 標準 42-69	LACP
ダイナミック ルーティング プロトコル 42-69	「EtherChannel」を参照
モニタリング 42-79	レイヤ 2 プロトコル トンネリング 19-10
ISO IGRP	LDAP 3-2
エリア ルーティング 42-69	LED、スイッチ
システム ルーティング 42-69	「ハードウェア インストレーション ガイド」を参照
	Lightweight Directory Access Protocol
	「LDAP」を参照
J	Link Aggregation Control Protocol
join メッセージ、IGMP 26-3	「EtherChannel」を参照
	Link Layer Discovery Protocol
	「CDP」を参照
K	Link State Advertisement (LSA) 42-34
KDC	LLDP
「Kerberos」も参照	イネーブルにする 30-6
説明 10-41	概要 30-1
Kerberos	サポートされる TLV 30-2
KDC 10-41	スイッチ スタックの考慮事項 30-2
TGT 10-42	設定
クレデンシャル 10-41	デフォルト設定 30-5
サーバ 10-42	設定する 30-5
サポート 1-14	特性 30-6
信頼済みサード パーティとしてのスイッチ 10-40	送信タイマーとホールドタイム、設定する 30-6
設定 10-44	モニタリングとメンテナンス 30-11
設定例 10-40	LLDP-MED
説明 10-41	概要 30-1, 30-2
操作 10-43	サポートされる TLV 30-2
チケット 10-41	設定する
認証する	TLV 30-7
KDC 10-43	手順 30-5
境界スイッチ 10-43	モニタリングとメンテナンス 30-11
ネットワーク サービス 10-44	LLDP Media Endpoint Discovery
用語 10-41	「LLDP-MED」を参照
レルム 10-42	Long-Reach Ethernet (LRE) テクノロジー 1-37
	LRE プロファイル、スイッチ クラスタでの考慮事項 6-16
<u> </u>	

l2protocol-tunnel コマンド 19-14

M	説明 23-6
171	デフォルト設定 23-9
MAC/PHY コンフィギュレーション ステータス	モニタリング 23-14
TLV 30-2	MAC アドレス ラーニング 1-8
MACSec	MAC アドレス ラーニング、VLAN でディセーブルにす
802.1AE タギング 12-9	5 7-23
MACsec 12-2	MAC 拡張アクセス リスト
インターフェイスでの設定 12-7	QoS 分類の 38-5
スイッチ間セキュリティ 12-1	QoS を設定する 38-55
スタッキング 12-3	作成する 37-30
定義 12-1, 12-2	定義済み 37-30
MACsec Key Agreement Protocol	レイヤ 2 インターフェイスに対して適用する 37-32
「MKA」を参照	MAC 認証バイパス 11-16
MAC アドレス	maximum-paths コマンド 42-56, 42-97
ACL での 37-30	MDA
IP アドレス アソシエーション 42-10	設定時の注意事項 11-30 ~ 11-31
IP ソース バインディング テーブルで表示す	説明 1-13, 11-30
3 24-27	認証プロセスでの例外 11-4
VLAN でのラーニングをディセーブルにする 7-23	Media Access Control Security
VLAN との対応付け 7-13	「MACsec」を参照
アドレス テーブルを構築する 7-13	MHSRP 44-4
エージング タイム 7-14	MIB
検出する 7-24	SNMP の相互作用 35-4
スタティック	概要 35-1
許可する 7-22, 7-23	MKA
削除する 7-20	仮想ポート 12-3
追加する 7-20	定義 12-2
特性 7-19	統計情報 12-5
ドロップする 7-21	ポリシー 12-3
ダイナミック	ポリシーの設定 12-6
削除する 7-15	リプレイ プロテクション 12-3
ラーニング 7-13	mrouter ポート 23-3, 23-5
デフォルト設定 7-14	MSDP
表示する 7-23	MSDP 接続および統計情報のクリア 50-19
MAC アドレス /VLAN マッピング 15-28	Source-Active メッセージ
MAC アドレス通知、サポート 1-19	TTL によるデータの制限 50-14
MAC アドレス テーブル移動更新	アドバタイズされる送信元の制限 50-9
設定時の注意事項 23-8	キャッシング 50-6
設定する 23-12	着信のフィルタリング 50-14
	'PIH''' / I''' / / Y / VVIIT

定義 50-2	CIST リージョナル ルート 21-3, 21-5
ピアからのフィルタリング 50-11	CIST ルート 21-5
ピアへのフィルタリング 50-12	CST
概要 50-1	定義 21-3
加入遅延、定義 50-6	リージョン間の動作 21-4
サポート 1-18	EtherChannel ガード
送信元情報の制御	イネーブルにする 22-18
スイッチから発信 50-8	説明 22-10
スイッチで受信 50-14	IEEE 802.1D との相互運用性
スイッチによる転送 50-12	移行プロセスの再起動 21-27
デフォルト設定 50-4	説明 21-9
デンス モード領域	IEEE 802.1s
SA メッセージの送信 50-17	実装 21-6
発信元アドレスの指定 50-18	ポートの役割名の変更 21-7
発信元アドレス、変更 50-18	用語 21-5
ピア	IST
シャットダウン 50-16	定義 21-2
送信元情報の要求 50-8	マスター 21-3
デフォルトの設定 50-4	リージョン内の動作 21-3
ピアリング関係、概要 50-1	MST リージョン
モニタリング 50-19	CIST 21-3
ピア RPF フラッディング 50-2	IST 21-2
フィルタリング	サポートされるスパニングツリー インスタン
着信 SA メッセージ 50-14	ス 21-2
ピアからの SA 要求 50-11	設定 21-17
ピアへの SA メッセージ 50-12	説明 21-2
メッシュ グループ	ホップ カウント メカニズム 21-5
設定 50-16	Port Fast
定義 50-16	イネーブルにする 22-13
利点 50-3	説明 22-2
MSTP	Port Fast 対応ポートのシャットダウン 22-2
BPDU ガード	VLAN と MST インスタンスのマッピング 21-18
イネーブルにする 22-14	インターフェイスの状態、転送のブロッキン グ 22-2
説明 22-2	概要 21-2
BPDU フィルタリング	拡張システム ID
イネーブルにする 22-15	異常動作 21-19
説明 22-3	セカンダリ ルート スイッチへの影響 21-20
CIST、説明 21-3	ルート スイッチへの影響 24.40

境界ポート	MTU
設定時の注意事項 21-17	システム 14-42
説明 21-6	システム ジャンボ 14-42
サポートされるインスタンス 20-11	システム ルーティング 14-42
サポートされるオプション機能 1-10	multiauth
スタックの変更、影響 21-8	アクセス不能認証バイパスのサポート 11-23
ステータスの表示 21-28	multiauth モード
ステータス、表示 21-28	「複数認証モード」を参照
設定	Multicast Source Discovery Protocol
MST リージョン 21-17	「MSDP」を参照
高速コンバージェンス用リンク タイプ 21-26	multicast storm-control コマンド 29-4
最大エージング タイム 21-25	Multiple HSRP
最大ホップ カウント 21-26	「MHSRP」を参照
スイッチ プライオリティ 21-23	Multiple VPN Routing/Forwarding、カスタマー エッジ デバイスでの
セカンダリ ルート スイッチ 21-20	「Multi-VRF CE」を参照
転送遅延時間 21-25	Multi-VRF CE
ネイバー タイプ 21-27 パス コスト 21-22	サポート 1-17
パス コスト 21-22 ポート プライオリティ 21-21	設定 42-82
	設定時の注意事項 42-83
ルート スイッチ 21-19	設定例 42-90
設定時の注意事項 21-16, 22-12 設定する	定義 42-80
ntello タイム 21-24	デフォルト設定 42-82
デフォルト設定 21-16	ネットワーク コンポーネント 42-82
デフォルトのオプション機能設定 22-12	パケット転送処理 42-82
モード間での相互運用性と互換性 20-11	MVR
モードのイネーブル化 21-17	IGMPv3 と 26-22
ルートガード	アドレスのエイリアス 26-22
イネーブルにする 22-18	アプリケーション例 26-19
説明 22-10	インターフェイスの設定 26-23
ルートスイッチ	グローバル パラメータを設定する 26-22
異常動作 21-19	サポート 1-6
拡張システム ID の影響 21-19	スイッチ スタックでの 26-21
設定 21-19	説明 26-18
ルート スイッチ選択を防止する 22-10	デフォルト設定 26-21
ループガード	マルチキャスト TV アプリケーション 26-19
イネーブルにする 22-19	モード 26-23
説明 22-11	

N	NSSA、OSPF 42-34 NTP
NAC	アソシエーション
AAA ダウン ポリシー 1-14	定義済み 7-2
RADIUS サーバを使用した IEEE 802.1x 検	概要 7-2
証 11-60	サポート 1-8
RADIUS サーバを使用した IEEE 802.1x 認 証 11-60	時刻
アクセス不能認証バイパス 1-14, 11-55	サービス 7-2
クリティカル認証 11-23, 11-55	同期をとる 7-2
レイヤ 2 IEEE 802.1x 検証 1-14, 11-60	層 7-2
レイヤ 2 IP 検証 1-14	
NameSpace Mapper	0
「NSM」を参照	
NDAC 12-9	OBFL
MACsec 12-1	設定する 52-28
定義済み 12-9	説明 52-27
NEAT	表示する 52-29
概要 11-31	Open1x
設定する 11-61	設定する 11-66
Network Admission Control	Open1x 認証
「NAC」を参照	概要 11-29
Network Assistant	Open Shortest Path First
guide モード 1-3	「OSPF」を参照
イメージ ファイルをダウンロードする 1-3	OSPF
ウィザード 1-3	IPv6 用 43-7
管理オプション 1-3	LSA グループ ペーシング 42-37
スイッチ スタックを管理する 5-4, 5-19	インターフェイス パラメータ、設定 42-33
スイッチをアップグレードする A-25	エリア パラメータ、設定 42-34
説明 1-7	仮想リンク 42-35
利点 1-2	サポート 1-17
no switchport コマンド 14-5	設定 42-32
Not-So-Stubby-Area	説明 42-28
「NSSA」を参照	デフォルト設定
no コマンド 2-4	設定 42-29
NSAP、ISO IGRP アドレスとして 42-69	メトリック 42-36
NSF 認識	ルート 42-35
IS-IS 42-72	モニタリング 42-38
NSM 3-3	ルータ ID 42-38
	ルート集約 42-35

P	モードのイネーブル化 49-14
-	ルータ クエリー メッセージ インターバル、変 更 49-40
PAgP	
「EtherChannel」を参照	PIM-DVMRP、スヌーピング方式としての 26-9
レイヤ 2 プロトコル トンネリング 19-10	ping
PBR	概要 52-15
イネーブル化 42-106	実行する 52-16
高速スイッチングされたポリシーベース ルーティン グ 42-107	文字出力の説明 52-16 PoE
定義 42-103	auto モード 14-10
ローカル ポリシーベース ルーティング 42-107	CDP に対する電力ネゴシエーションの拡張機
PC(パッシブ コマンド スイッチ) 6-10	能 14-8
PE/CE ルーティング、設定 42-90	Cisco インテリジェント電力管理 14-8
Per-VLAN Spanning-Tree plus	IEEE 電力分類レベル 14-9
「PVST+」を参照	static モード 14-10
PIM	サポートされるデバイス 14-7
Shortest Path Tree、使用の延期 49-39	サポートされる標準 14-8
概要 49-4	受電装置の検出と初期電力割り当て 14-8
共有ツリーおよび送信元ツリー、概要 49-37	設定する 14-35
サポート 1-17	低電力モードで動作する高電力装置 14-8
スタブ ルーティング	電力管理モード 14-10
イネーブル化 49-24	電力消費 14-36
概要 49-5	電力消費のポリシング 14-38
設定時の注意事項 49-24	電力消費を伴う CDP、説明 14-8
スパース モード	電力ネゴシエーションを伴う CDP、説明 14-8
RPF 検索 49-9	電力のモニタリング 14-38
概要 49-5	トラブルシューティング 52-13
加入メッセージおよび共有ツリー 49-5	パワー バジェット 14-36
プルーニング メッセージ 49-5	ポリシング電力の使用方法 14-11
デフォルト設定 49-11	モニタリング 14-11
デンス モード	POP 1-37
RPF 検索 49-9	Port Aggregation Protocol
概要 49-5	「EtherChannel」を参照
ランデブー ポイント(RP)、説明 49-5	Port Fast
バージョン	イネーブルにする 22-13
v2 の改善点 49-4	サポート 1-10
相互運用性 49-12	説明 22-2
相互運用性に関するトラブルシューティン グ 49-37	モード、スパニング ツリー 15-30

Protocol-Independent Multicast Protocol	設定とデフォルト表示 38-36
「PIM」を参照	説明 38-23
Provider Edge デバイス 42-81	ディセーブルにする 38-36
PVST+	トラフィックを分類する 38-24
IEEE 802.1Q トランキングの相互運用性 20-12	出力インターフェイスで帯域幅を制限する 38-94
サポートされるインスタンス 20-11	出力キュー
説明 20-10	DSCP 値または CoS 値のマッピング 38-90
	SRR の共有重みを設定する 38-93
	SRR のシェーピング重みを設定する 38-92
Q	WTD しきい値の設定 38-88
QoS	WTD、説明 38-22
DSCP 透過 38-47	しきい値マップを表示する 38-91
IP 電話	スケジューリング、説明 38-4
検出と信頼済みの設定 38-23, 38-46	説明 38-4
自動分類とキューイング 38-23	バッファ領域を割り当てる 38-88
MQC コマンドと 38-1	バッファ割り当てスキーム、説明 38-20
QoS ラベル、定義済み 38-4	フローチャート 38-19
暗黙の拒否 38-8	信賴状態
概要 38-2	信頼済みデバイス 38-46
基本モデル 38-4	説明 38-5
キュー	ドメイン内 38-44
SRR、説明 38-15	別のドメインとの境界 38-48
WTD、説明 38-15	設定
高優先順位(緊急) 38-22, 38-94	物理ポートのポリシーマップ 38-62
出力特性を設定する 38-87	設定時の注意事項
入力特性を設定する 38-83	自動 QoS 38-33
場所 38-14	標準 QoS 38-39
クラス マップ	設定する
設定する 38-57	DSCP の透過性 38-47
グローバルにイネーブルにする 38-42	DSCP マップ 38-77
再書き込み 38-22	IP 拡張 ACL 38-52
サポート 1-15	IP 標準 ACL 38-50
自動 QoS	MAC ACL 38-55
実行コンフィギュレーションでの影響 38-33	自動 QoS 38-23
出力キューのデフォルト 38-25	集約ポリシング機能 38-75
初期設定を表示する 38-36	出力キューの特性 38-87
生成コマンドのリスト 38-26	信賴境界 38-46
生成コマンドを表示する 38-35	デフォルト ポート CoS 値 38-45
設定時の注意事項 38-33	ドメイン内のポートの信頼状態 38-44

入力キューの特性 38-83	フローチャート 38-7
別のドメインとの境界での DSCP 信頼状	ポリシー マップ、説明 38-8
態 38-48	ポリサー
ポリシー マップ、階層型 38-67	設定 38-65, 38-75
デフォルトの自動設定 38-24	ポリシー、インターフェイスに接続する 38-9
デフォルトの標準設定 38-37	ポリシーマップ
入力キュー	SVI での階層 38-67
DSCP 値または CoS 値のマッピング 38-84	階層 38-9
SRR の共有重みを設定する 38-86	特性 38-62
WTD しきい値の設定 38-84	物理ポートでの非階層 38-62
WTD、説明 38-18	ポリシング
しきい値マップを表示する 38-84	説明 38-4, 38-9
スケジューリング、説明 38-4	トークン バケット アルゴリズム 38-10
説明 38-4	ポリシング機能
帯域幅を割り当てる 38-86	数 38-41
バッファと帯域幅の割り当て、説明 38-18	説明 38-9
バッファ領域を割り当てる 38-85	タイプ 38-10
プライオリティ キュー、説明 38-18	マーキング、説明 38-4, 38-9
プライオリティ キューを設定する 38-86	マークダウン アクション 38-65
フローチャート 38-16	マッピング テーブル
パケットの変更 38-22	CoS/DSCP 38-77
フローチャート	DSCP/CoS 38-80
出力キューイングとスケジューリング 38-19	DSCP/DSCP 変換 38-81
入力キューイングとスケジューリング 38-16	IP precedence/DSCP 38-78
分類 38-7	タイプ 38-13
ポリシングとマーキング 38-11	ポリシング済み DSCP 38-79
分類	QoS の CoS 入力キューしきい値マップ 38-18
DSCP の透過性、説明 38-47	QoS の DSCP 入力キューしきい値マップ 38-18
IP ACL、説明 38-7, 38-8	Quality Of Service
IP トラフィックのオプション 38-6	「QoS」を参照
MAC ACL、説明 38-5, 38-8	Quality of Service
クラス マップ、説明 38-8	「QoS」を参照
信頼 DSCP、説明 38-5	
信頼 IP precedence、説明 38-5	
信頼済み CoS、説明 38-5	R
定義済み 38-4	RADIUS
転送処理 38-3	AAA サーバ グループを定義する 10-32
非 IP トラフィックのオプション 38-5	概要 10-18
フレームとパケットでの 38-3	クラスタでの 6-16

サーバ ロード バランシング 10-40	サーバを準備する A-17
サーバを指定する 10-27	ダウンロードする A-18
サポート 1-14	Remote Authentication Dial-In User Service
設定する	「RADIUS」を参照
アカウンティング 10-35	RFC
通信、グローバル 10-28, 10-36	1058、RIP 42-22
通信、サーバ単位 10-27, 10-28	1112、IP マルチキャストと IGMP 26-2
認可 10-34	1157、SNMPv1 35-2
認証 10-30	1163、BGP 42-47
複数 UDP ポート 10-27	1166、IP アドレス 42-7
設定を表示する 10-40	1253、OSPF 42-28
操作 10-20	1267、BGP 42-47
属性	1305、NTP 7-2
ベンダー固有 10-36	1587、NSSA 42-28
ベンダー専用 10-38	1757、RMON 33-2
デフォルト設定 10-27	1771、BGP 42-47
ネットワーク環境の提案 10-18	1901、SNMPv2C 35-2
方式リスト、定義済み 10-26	$1902 \sim 1907$, SNMPv2 35-2
ユーザに対するサービスを制限する 10-34	2236、IP マルチキャストと IGMP 26-2
ユーザによってアクセスされるサービスをトラッキン	2273-2275、SNMPv3 35-2
グする 10-35	RFC 5176 規定 10-21
RADIUS 許可の変更 10-20	RIP
Rapid Per-VLAN Spanning-Tree plus	IPv6 用 43-7
「Rapid PVST+」を参照	アドバタイズメント 42-22
Rapid PVST+	サポート 1-17
IEEE 802.1Q トランキングの相互運用性 20-12	サマリー アドレス 42-26
サポートされるインスタンス 20-11	スプリット ホライズン 42-26
説明 20-11	設定 42-23
RARP 42-11	説明 42-22
rcommand コマンド 6-16 RCP	デフォルト設定 42-23
	認証 42-25
イメージファイル	ホップ カウント 42-22
アップロードする A-40	RMON
サーバを準備する A-37	アラームとイベントをイネーブルにする 33-3
ダウンロードする A-38	概要 33-1
古いイメージを削除する A-40	サポート 1-19
設定ファイル	サポートされるグループ 33-2
アップロードする A-19 概 . Δ-17	ステータスを表示する 33-6

デフォルト設定 33-3	IEEE 802.1D との相互運用性
統計情報	移行プロセスの再起動 21-27
グループ イーサネットを収集する 33-5	説明 21-9
グループ履歴を収集する 33-5	トポロジの変更 21-14
route-map コマンド 42-106	「MSTP」も参照
Routing Information Protocol	アクティブ トポロジ 21-10
「RIP」を参照	概要 21-9
RPS	高速コンバージェンス
「Cisco Redundant Power System 2300」を参照 RPS 2300	エッジ ポートおよび Port Fast 21-10 クロススタック高速コンバージェンス 21-11
「Cisco Redundant Power System 2300」を参照	説明 21-10
RSPAN 32-3	ポイントツーポイント リンク 21-11, 21-26
VLAN ベース 32-7	ルートポート 21-10
宛先ポート 32-8	指定スイッチ、定義 21-9
概要 1-19, 32-1	指定ポート、定義 21-9
受信トラフィック 32-6	提案合意ハンドシェイク プロセス 21-11
スイッチ スタックでの 32-3	ポートの役割
スタックの変更と 32-10	説明 21-9
ステータスを表示する 32-31	同期 21-12
セッション	ルート ポート、定義 21-9
作成する 32-20	
定義済み 32-4	
特定の VLAN に対する送信元トラフィックを制 限する 32-22	S SAP
入力トラフィックをイネーブルにする 32-25	サポート 12-1
モニタリングされるポートを指定する 32-20	
セッションの制限 32-12	定義済み 12-9 ネゴシエーション 12-10
設定時の注意事項 32-19	SCP
送信トラフィック 32-6	SSH と 10-57
送信元ポート 32-7	設定する 10-57
デフォルト設定 32-12	成たする 10-57 「SCP」を参照
特性 32-9	SC (スタンバイ コマンド スイッチ) 6-10
他の機能との相互動作 32-9	SDM
モニタリングされるポート 32-7	スイッチ スタックの考慮事項 5-12
モニタリング ポート 32-8	説明 8-1
RSTP	テンプレート
BPDU	数 8-1
形式 21-13	設定する 8-6
処理 21-14	HAVE / W

SDM テンプレート	エンジン ID 35-7
設定する 8-5	概要 35-1, 35-4
タイプ 8-1	クラスタでの 6-14
デュアル IPv4/IPv6 8-3	クラスタを管理する 6-17
Secure Copy Protocol	グループ 35-7, 35-10
Secure Socket Layer	コミュニティ ストリング
「SSL」を参照	概要 35-4
Security Exchange Protocol	クラスタ スイッチの 35-4
「SAP」を参照	設定する 35-8
set-request オペレーション 35-4	サポートされるバージョン 35-2
SFP	システム接点と場所 35-17
ステータス、表示する 52-15	システム ログ メッセージを NMS に対して制限す
セキュリティと識別情報 52-14	る 34-10
番号付け 14-20	情報
モニタリング ステータス 52-15	イネーブルにする 35-16
show access-lists hw-summary コマンド 37-24	説明 35-5
show cluster members コマンド 6-16	ディセーブルにする 35-16
show configuration コマンド 14-39	トラップ キーワードと 35-13
show forward コマンド 52-23	トラップとの違い 35-5
show interfaces switchport 23-4	ステータス、表示する 35-20
show interfaces コマンド 14-32, 14-39	セキュリティ レベル 35-3
show l2protocol コマンド 19-15, 19-16, 19-17	設定例 35-19
show platform forward コマンド 52-23	带域内管理 1-8
show running-config コマンド	通知 35-5
ACL を表示する 37-35, 37-38	デフォルト設定 35-7
インターフェイスの説明 14-39	トラップ
show コマンドと more コマンドの出力、フィルタリング 2-10	MAC アドレス通知をイネーブルにする 7-15, 7-17, 7-18
shutdown コマンド、インターフェイスでの 14-54	イネーブルにする 35-13
SNAP 28-1	概要 35-1, 35-4
SNMP	情報との違い 35-5
CPU しきい値通知を設定する 35-17	説明 35-5
ifIndex 值 35-6	タイプ 35-13
IP SLA & 45-2	ディセーブルにする 35-16
MIB 変数にアクセスする 35-4	トラップ マネージャ、設定する 35-15
TFTP サーバによるアクセスを制限する 35-18	認証レベル 35-11
エージェント	ホスト 35-7
説明 35-4	マネージャ機能 1-7, 35-3
ディヤーブルアナス 250	ユーザ 35-7, 35-10

SNMPv1 35-2	出力キューでのシェーピング重み 38-92
SNMPv2C 35-2	入力キューでの共有重み 38-86
SNMPv3 35-2	説明 38-15
SNMP と Syslog、IPv6 による 43-8	SSH
Source-Specific Multicast	暗号化方式 10-46
「SSM」を参照	スイッチ スタックの考慮事項 5-20
SPAN	設定する 10-47
VLAN ベース 32-7	説明 1-8, 10-46
宛先ポート 32-8	ユーザ認証方式、サポートされる 10-47
概要 1-19, 32-1	SSL
受信トラフィック 32-6	セキュア HTTP クライアントを設定する 10-56
スタックの変更と 32-10	セキュア HTTP サーバを設定する 10-54
ステータスを表示する 32-31	設定時の注意事項 10-53
セッション	説明 10-50
宛先(モニタリング)ポートを削除する 32-15	モニタリング 10-56
作成する 32-13, 32-27	SSM
定義済み 32-4	CGMP の制限 49-17
特定の VLAN に対する送信元トラフィックを制	IGMPv3 49-15
限する 32-18	IGMPv3 ホスト シグナリング 49-16
入力転送を設定する 32-17, 32-26	IGMP スヌーピング 49-17
入力トラフィックをイネーブルにする 32-16	Internet Standard Multicast との違い 49-15
モニタリングされるポートを指定する 32-13, 32-27	IP アドレス範囲 49-16
	PIM 49-15
セッションの制限 32-12	アドレス管理に関する制約 49-17
設定時の注意事項 32-12	コンポーネント 49-15
送信トラフィック 32-6	ステート維持の制限 49-17
送信元ポート 32-7	設定 49-15, 49-18
デフォルト設定 32-12	設定時の注意事項 49-17
ポート、制約事項 29-13 他の機能との相互動作 32-9	動作 49-16
他の機能との相互動作 32-5 モニタリングされるポート 32-7	モニタリング 49-18
モニタリング ポート 32-8	SSM マッピング 49-18
	DNS ベース 49-20, 49-22
SPAN トラフィック 32-6 SRR	概要 49-19
	スタティック 49-20, 49-21
共有モード 38-16	スタティック トラフィック転送 49-22
サポート 1-16	制限 49-19
シェーピング モード 38-16	設定 49-18, 49-21
設定する 出力な - 一での # 右重 7 29 02	設定時の注意事項 49-18
出力キューでの共有重み 38-93	モニタリング 49-23

StackWise Plus テクノロジー、Cisco 1-3	リスニング 20-8
「スタック」も参照、スイッチ	インターフェイスの状態、転送のブロッキン
standby ip コマンド 44-6	グ 22-2
STP	下位 BPDU 20-3
BackboneFast	概要 20-2
イネーブルにする 22-17	カウンタ、クリア 20-25
説明 22-7	拡張システム ID
ディセーブルにする 22-17	概要 20-5
BPDU ガード	セカンダリ ルート スイッチの影響 20-19
イネーブルにする 22-14	予期しない動作 20-18
説明 22-2	ルート スイッチの影響 20-17
ディセーブルにする 22-15	間接リンク障害を検出する 22-8
BPDU フィルタリング	キープアライブ メッセージ 20-3
イネーブルにする 22-15	クロススタック UplinkFast
説明 22-3	イネーブルにする 22-17
ディセーブルにする 22-16	説明 22-5
BPDU メッセージ交換 20-3	サポートされるインスタンス 20-11
EtherChannel ガード	サポートされるオプション機能 1-10
イネーブルにする 22-18	サポートされる機能 1-10
説明 22-10	サポートされるプロトコル 20-10
ディセーブルにする 22-18	サポートされるモード 20-10
IEEE 802.1D とブリッジ ID 20-5	指定スイッチ、定義済み 20-4
IEEE 802.1D とマルチキャスト アドレス 20-10	指定ポート、定義済み 20-4
IEEE 802.1Q トランクでの制限 20-12	冗長接続性 20-9
IEEE 802.1t と VLAN 識別情報 20-5	スイッチ スタックでのルート ポートの選択 20-4
Port Fast	スタックの変更、影響 20-13
イネーブルにする 22-13	ステータス、表示する 20-25
説明 22-2	ステータスを表示する 20-25
Port Fast 対応ポートのシャットダウン 22-2	設定
UplinkFast	hello タイム 20-23
イネーブルにする 22-16	最大エージング タイム 20-24
説明 22-3	セカンダリ ルート スイッチ 20-19
VLAN ブリッジ 20-12	転送遅延時間 20-24
インターフェイスの状態	ポート プライオリティ 20-19
概要 20-6	設定時の注意事項 20-14, 22-12
ディセーブル 20-8	設定する
転送する 20-7, 20-8	スイッチ プライオリティ 20-22
ブロッキング 20-7	スパニング ツリー モード 20-16
ラーニング 20-8	転送保留カウント 20-25

パス コスト 20-21	SVI autostate exclude
ルート スイッチ 20-17	設定する 14-41
タイマー、説明 20-23	SVI 自動ステート除外
ディセーブルにする 20-17	定義 14-6
デフォルト設定 20-14	SVI リンク ステート 14-6
デフォルトのオプション機能設定 22-12	Switch Database Management
パス コスト 15-26, 15-27	「SDM」を参照
ポート プライオリティ 15-25	switchport backup interface 23-4, 23-5
マルチキャストアドレス、影響 20-10	switchport block multicast コマンド 29-8
モード間での相互運用性と互換性 20-11	switchport block unicast コマンド 29-8
優位 BPDU 20-3	switchport mode dot1q-tunnel コマンド 19-7
ルートガード	switchport protected コマンド 29-7
イネーブルにする 22-18	switchport コマンド 14-29
説明 22-10	Syslog
ルート スイッチ	「システム メッセージ ロギング」を参照
拡張システム ID の影響 20-5, 20-17	
設定する 20-17	T
選択 20-4	1
予期しない動作 20-18	TACACS+
ルート スイッチ選択を防止する 22-10	アカウンティング、定義済み 10-11
ルート ポート選択のアクセラレーション 22-4	概要 10-10
ルート ポート、定義済み 20-4	クラスタでの 6-16
ループ ガード	サーバを指定する 10-13
イネーブルにする 22-19	サポート 1-14
説明 22-11	設定する
レイヤ 2 プロトコル トンネリング 19-8	アカウンティング 10-17
ロード シェアリング	認可 10-16
概要 15-24	認証キー 10-13
パス コストを使用する 15-26	ログイン認証 10-14
ポート プライオリティを使用する 15-25	設定を表示する 10-17
subnet mask 42-8	操作 10-12
SunNet Manager 1-7	デフォルト設定 10-13
SVI	認可、定義済み 10-11
IP ユニキャスト ルーティング 42-5	認証、定義済み 10-11
VLAN 間でのルーティング 15-2	ユーザに対するサービスを制限する 10-16
VLAN の接続 14-13	ユーザによってアクセスされるサービスをトラッキン
定義 14-5	グする 10-17
ルータ ACL 37-5	tar ファイル
	A X → 1/2 A H/H HY T

作成する A-7	IP アドレスおよびサブネット 52-17
抽出する A-8	MAC アドレスおよび VLAN 52-17
内容を表示する A-7	使用上の注意事項 52-17
TCL スクリプト、組み込みイベント マネージャによる登	説明 52-17
録と定義 36-7	ブロードキャスト トラフィック 52-17
TDR 1-19	マルチキャスト トラフィック 52-17
Telnet	ユニキャスト トラフィック 52-17
管理インターフェイスにアクセスする 2-11	
接続数 1-8	
パスワードを設定する 10-6	U
Terminal Access Controller Access Control System Plus	UDLD
「TACACS+」を参照	イネーブル化
Ternary Content Addressable Memory 52-26	グローバル 31-5
TFTP	イネーブルにする
イメージ ファイル	インターフェイスごとの 31-6
アップロードする A-30	インターフェイスをリセットする 31-6
サーバを準備する A-28	概要 31-1
削除する A-30	検出メカニズムをエコーする 31-3
ダウンロードする A-28	サポート 1-10
サーバによるアクセスを制限する 35-18	ステータス、表示する 31-7
自動設定を設定する 4-8	設定時の注意事項 31-4
設定ファイル	ディセーブルにする
アップロードする A-13	インターフェイスごとの 31-6
サーバを準備する A-11	グローバルに 31-5
ダウンロードする A-12	光ファイバ インターフェイスでの 31-5
ベース ディレクトリの設定ファイル 4-8	デフォルト設定 31-4
TFTP サーバ 1-7	ネイバー データベース 31-2
time-range コマンド 37-18	リンク検出メカニズム 31-1
TLV	レイヤ 2 プロトコル トンネリング 19-11
LLDP 30-2	UDLD シャットダウン インターフェイスをリセットす
LLDP-MED 30-2	る 31-6
定義済み 30-2	UDP ジッタ、設定する 45-9
ToS 1-15	UDP ジッタ動作、IP SLA 45-8
traceroute コマンド	UDP、設定 42-18
「IP traceroute」も参照	unicast storm control コマンド 29-4
traceroute、レイヤ 2	UNIX Syslog サーバ
1 ポートに複数のデバイス 52-18	サポートされる機能 34-14
ARP 52-17	デーモンの設定 34-12
CDP 52-17	メッセージャゼンガ語会 24.42

UplinkFast	スタティック アクセス ポート 15-10
イネーブルにする 22-16	スパニング ツリー インスタンスと 15-3, 15-7,
サポート 1-10	15-12
説明 22-3	設定 15-1
ディセーブルにする 22-17	設定時の注意事項、拡張範囲 VLAN 15-11
USB タイプ A ポート 1-9, 14-17	設定時の注意事項、標準範囲 VLAN 15-6
USB 無活動タイマー 14-16	説明 14-2, 15-1
USB フラッシュ デバイス 14-17	ダイナミック アドレスのエージング 20-10
USB ポート 14-14	追加 15-8
ミニタイプ B 14-15	デフォルト設定 15-8
	トークンリング 15-6
	トラフィック 15-2
V	トランク上での許可 15-21
VACL	内部 15-12
ロギング	ネイティブ、設定する 15-23
設定例 37-42	パラメータ 15-5
VACL ロギングの設定 37-40	表示する 15-15
Version-Mismatch (VM) モード	標準範囲 15-1, 15-4
auto-advise での手動でのアップグレード 5-15	変更する 15-8
auto-extract でのアップグレード 5-14	ポート メンバシップ モード 15-3
auto-upgrade での自動アップグレード 5-14	マルチキャスト 26-18
VLAN	VLAN 1
1006 ~ 4094 の ID を設定する 15-11	最小化 15-21
RSPAN での送信元トラフィックを制限する 32-22	トランク ポートでのディセーブル 15-21
SPAN での送信元トラフィックを制限する 32-18	VLAN ACL
STP と IEEE 802.1Q トランク 20-12	「VLAN マップ」を参照
SVI による接続 14-13	vlan.dat ファイル 15-5
VLAN データベースに追加する 15-8	vlan dot1q tag native コマンド 19-5
VLAN ブリッジ STP 20-12, 51-2	VLAN ID、検出する 7-24
VTP モード 16-3	VLAN Query Protocol
拡張範囲 15-1, 15-11	「VQP」を参照
機能 1-11	VLAN 管理ドメイン 16-2
サービス プロバイダー ネットワーク内のカスタマー	VLAN 間ルーティング 1-17, 42-2
番号 19-3	vlan グローバル コンフィギュレーション コマンド 15-7
削除する 15-9	VLAN 設定
サポートされる 15-3	起動時 15-7
サポートされる番号 1-11	保存 15-7
スイッチ スタックでの 15-7	VLAN データベース
図示 15-2	VLAN の保存 15-4

VTP & 16-1	説明 15-28
スタートアップ コンフィギュレーション ファイル	ダイナミック ポート メンバシップ
と 15-7	再確認する 15-32
保存されている VLAN 設定 15-7	説明 15-29
VLAN トランキング プロトコル	トラブルシューティング 15-34
「VTP」を参照	デフォルト設定 15-29
VLAN トランク 15-16	メンバシップを再確認する 15-32
VLAN フィルタリングと SPAN 32-8	モニタリング 15-33
VLAN マップ	リトライ回数、変更する 15-33
ACL と VLAN マップの例 37-36	Voice over IP 17-1
一般的な使用方法 37-38	VPN
サーバに対するアクセス拒否の例 37-39	サービス プロバイダー ネットワーク内 42-80
削除する 37-38	フォワーディング 42-82
作成 37-35	ルーティングの設定 42-89
サポート 1-12	ルート 42-81
設定時の注意事項 37-34	VPN ルーティングおよび転送テーブル
設定する 37-33	「VRF」を参照
定義済み 37-3	VQP 1-11, 15-28
適用 37-38	VRF
パケットの拒否と許可 37-35	定義 42-82
表示 37-47	テーブル 42-80
ワイヤリング クローゼットの設定例 37-39	VRF 認識サービス
VLAN マップ エントリ、順序 37-34	ARP 42-85
VLAN マネジメント ポリシー サーバ	ftp 42-88
「VMPS」を参照	HSRP 42-86
VLAN メンバシップ	ping 42-85
確認する 15-32	RADIUS 42-87
モード 15-3	SNMP 42-85
VLAN リンク ステート 14-6	syslog 42-87
VLAN ロード バランシング、Flex Link の	tftp 42-88
設定時の注意事項 23-8	traceroute 42-87
VLAN 割り当て応答、VMPS 15-28	uRPF 42-86
VMPS	設定 42-84
MAC アドレスの VLAN へのマッピング 15-28	VRF、マルチキャストの設定 42-88
管理する 15-33	VTP
サーバ アドレスを入力する 15-30	アドバタイズメント 15-19, 16-4
再確認間隔、変更する 15-32	拡張範囲 VLAN と 15-3, 16-2
設定時の注意事項 15-30	クライアント モード、設定する 16-13
設定例 15-34	クライアントをドメインに追加する 16-17

サーバ モード、設定する 16-12, 16-15	クライアント 16-3
サポート 1-11	サーバ 16-3
使用する 16-1	トランスペアレント 16-4
整合性検査 16-5	変遷 16-3
設定	モニタリング 16-19
保存する 16-9	レイヤ 2 プロトコル トンネリング 19-8
要件 16-11	
設定の要件 16-11	W
設定リビジョン番号	VV
注意事項 16-17	WCCP
リセットする 16-18	MD5 セキュリティ 48-3
説明 16-1	イネーブル化 48-7
デフォルト設定 16-9 統計情報 16-19	クライアントから受信したトラフィックのリダイレク ト 48-7
トークンリングのサポート 16-5	サポートしない WCCPv2 機能 48-5
ドメイン 16-2	サポートしない機能 48-5
ドメイン名 16-10	設定時の注意事項 48-6
トランスペアレント モード、設定 16-12	説明 48-2
バージョン	ダイナミック サービス グループ 48-4
イネーブルにする 16-15	デフォルト設定 48-6
バージョン 1 16-5	転送方式 48-3
バージョン 2	認証 48-3
概要 16-5	ネゴシエーション 48-3
設定時の注意事項 16-10	パケットのリダイレクト 48-4
バージョン 3	パケット戻し方式 48-3
概要 16-5	パスワードの設定 48-7
バージョン、注意事項 16-10	表示 48-10
パスワード 16-10	メッセージ交換 48-2
標準範囲 VLAN と 15-3, 16-2	モニタリングおよびメンテナンス 48-10
プルーニング	レイヤ 2 ヘッダー書き換え 48-3
イネーブルにする 16-16	Web Cache Communication Protocol
概要 16-6	「WCCP」を参照
サポート 1-11	Web 認証 11-16
ディセーブルにする 16-16	設定する 13-16
例 16-7	説明 1-12
プルーニング適格リスト、変更する 15-22	Web ベース認証
モード	カスタマイズ可能な Web ページ 13-6
オフ 16-4	説明 13-1
	Web ベース認証、他の機能との相互作用 13-7

Weighted Tail Drop	アクセス リスト
「WTD」を参照	「ACL」を参照
WTD	アクティブ トラフィック モニタリング、IP SLA 45-
サポート 1-16	アクティブ リンク 23-2, 23-4, 23-5, 23-6
しきい値を設定する	アクティブ ルータ 44-2
出力キュー セット 38-88	アップグレードする、ソフトウェア イメージを
入力キュー 38-84	「ダウンロードする」を参照
説明 38-15	アップロードする
	イメージ ファイル
<u></u>	FTP を使用する A-35
あ	RCP を使用する A-40
アカウンティング	TFTP を使用する A-30
802.1x での 11-51	準備する A-28, A-31, A-37
IEEE 802.1x での 11-14	理由 A-25
RADIUS での 10-35	設定ファイル
TACACS+ での 10-11, 10-17	FTP を使用する A-16
アクセス拒否応答、 VMPS 15-28	RCP を使用する A-19
アクセス グループ	TFTP を使用する A-13
IPv4 ACL をインターフェイスに対して適用す	準備する A-11, A-14, A-17
る 37-22	理由 A-9
レイヤ 3 37-23	宛先 IP アドレス ベース転送、EtherChannel 40-9
アクセス グループ、IPv4 ACL をインターフェイスに対し て適用する 37-22	宛先 MAC アドレス転送、EtherChannel 40-9 アドバタイズメント
アクセス コントロール エントリ	CDP 28-1
「ACE」を参照	LLDP 30-2
アクセスする	RIP 42-22
クラスタ、スイッチ 6-13	VTP 15-19, 16-3, 16-4
コマンドスイッチ 6-11	アドミニストレーティブ ディスタンス
スイッチ クラスタ 6-13	OSPF 42-36
メンバ スイッチ 6-13	定義 42-109
アクセスする、スタック メンバに 5-33	ルーティング プロトコルのデフォルト 42-98
アクセス、テンプレートの 8-2	アドレス
アクセス不能認証バイパス	IPv6 43-2
802.1x 11-23	MAC アドレス テーブルを表示する 7-23
multiauth ポートのサポート 11-23	MAC、検出する 7-24
アクセス ポート	スタティック
スイッチ クラスタでの 6-9	ション・イング 追加と削除 7-19
定義済み 14-3	定義済み 7-12
レイヤ 2 プロトコル トンネリング 19-11	八-我们·广 【 -14

ダイナミック	デフォルト設定 14-26
エージング タイムを変更する 7-14	ネットワーク管理に対する 14-25
エージングのアクセラレーション 20-10	非サポート機能 14-27
削除する 7-15	ルーティングと 14-26
定義済み 7-12	ルーティング プロトコル 14-26
デフォルト エージング 20-10	イーサネット管理ポート、内部
ラーニング 7-13	非サポート機能 14-27
マルチキャスト	ルーティングと 14-26
STP アドレス管理 20-10	ルーティング プロトコル 14-26
グループ アドレス範囲 49-3	イーサネット経由の電源供給
アドレス解決 7-24, 42-11	「PoE」を参照
アドレス解決プロトコル	一時的な自己署名証明書 10-51
「ARP」を参照	一般クエリー 23-5
アドレスのエイリアス 26-2	イネーブル シークレット パスワード 10-3
アプリケーション エンジン、トラフィックのリダイレク	イネーブル パスワード 10-3
48-1	イベント、RMON 33-3
アベイラビリティ、機能 1-9	イベント検出器、組み込みイベントマネージャ 36-3
アラーム、RMON 33-3	インターフェイス
暗号化、CipherSuite 10-52	Auto-MDIX、設定する 14-33
暗号化ソフトウェア イメージ	カウンタ、クリアする 14-53
スイッチ スタックの考慮事項 5-3, 5-20	管理 1-7
暗号化、パスワードの 10-3	再起動 14-54
暗号キー、MKA 12-2	サポートされる 14-19
暗号キー生成 12-2	シャットダウンする 14-54
	情報を表示する 14-52
<u>l`</u>	ステータス 14-52
	設定する
イーサネット VLAN	手順 14-20
追加する 15-8	説明 14-39
デフォルトと範囲 15-8	タイプ 14-1
変更する 15-8	デフォルト設定 14-29
イーサネット管理ポート	デュプレックスと速度、設定する 14-31
TFTP & 14-28	デュプレックスと速度の設定時の注意事項 14-30
アクティブ リンク 14-25	範囲 14-21
サポート機能 14-27	範囲マクロ 14-23
指定する 14-27	番号 14-19
接続 2-11	物理、指定する 14-19
設定する 14-27	フロー制御 14-32
説明 14-25	命名 14-39

IP SLA 47-9 モニタリング 14-52 わかりやすい名前、追加 14-39 IP SLA、設定 47-9 インターフェイス コマンド 14-19 ~ 14-20 モニタリング 47-13 インターネット制御メッセージ プロトコル オブジェクト トラッキングのプライマリ インターフェイ ス、DHCP、設定 47-11 「ICMP」を参照 オブジェクトのトラッキング 47-1 インターフェイス タイプ 14-19 オプション、管理 1-7 オフモード、VTP 16-4 う オフライン設定、スイッチ スタックの 5-9 音声 VLAN ウィザード 1-3 Cisco 7960 Phone、ポート接続 17-1 IP 電話音声トラフィック、説明 17-2 え IP 電話データ トラフィック、説明 **17-2** IP 電話への接続 17-5 永続的な自己署名証明書 10-51 音声トラフィックに対してポートを設定する エージング タイム 802.1p プライオリティ タグ付きフレーム 17-5 MAC アドレス テーブル **7-14** 音声トラフィック用のポート設定 アクセラレーション IEEE 802.1Q フレーム 17-5 MSTP ∅ **21-25** 設定時の注意事項 17-3 STP での 20-10, 20-24 説明 17-1 最大 データ トラフィックに対して IP 電話を設定する MSTP 21-25, 21-26 着信フレームの CoS のオーバーライド 17-7 STP での **20-24**, **20-25** 着信フレームの CoS プライオリティの信 エージング、短縮 20-10 頼 17-7 エラーメッセージ、コマンド入力中の 2-5 デフォルト設定 17-3 エリア ボーダ ルータ 表示する 17-8 「ABR」を参照 音声認識 802.1x セキュリティ エリア ルーティング ポートベース認証 IS-IS **42-69** 設定する 11-39 ISO IGRP **42-69** 説明 11-33, 11-39 オンボード障害ロギング 「OBFL」を参照 お オンライン診断 応答側、IP SLA 概要 53-1 イネーブルにする 45-7 説明 53-1 説明 45-4 テストの実行 53-5 応答時間、IP SLA で測定する 45-4 オブジェクト トラッキング

HSRP 47-7

か	拡張ユニバーサル識別情報
<i>1</i> 3 ·	「EUI」を参照
階層、NTP 7-2 階層型ポリシー マップ	カスタマイズ可能な Web ページ、Web ベース認 証 13-6
関連	仮想 IP アドレス
設定する 38-67	クラスタ スタンバイ グループ 6-11
設定する 38-67 説明 38-12	コマンド スイッチ 6-11
	仮想スイッチと PAgP 40-6
階層ポリシー マップ 38-9 ガイド モード 1-3	仮想ポート、MKA 12-3
	仮想ルータ 44-2
外部ネイバー、BGP 42-52	簡易ネットワーク管理プロトコル
カウンタ、インターフェイスをクリアする 14-53	「SNMP」を参照
拡散更新アルゴリズム(DUAL) 42-39	環境変数、機能 4-24
拡張 crashinfo ファイル 52-25	環境変数、組み込みイベント マネージャ 36-5
拡張 IGRP 「EIGRP」を参照	管理 VLAN
「EIUKF」を参照 拡張オブジェクト トラッキング	異なる管理 VLAN での検出 6-7
仏版タフンエクト トノッキンク DHCP プライマリ インターフェイス 47-11	スイッチ クラスタでの考慮事項 6-7
HSRP 47-7	管理アクセス
IP SLA 47-9	帯域外コンソール ポート接続 1-8
IP SLA でのネットワーク モニタリング 47-11	帯域内
IP ルーティング ステート 47-2	CLI セッション 1-8
スタティック ルート プライマリ インターフェイ	SNMP 1-8
3 47-11	デバイス マネージャ 1-8
追跡リスト 47-3	ブラウザ セッション 1-8
定義 47-1	管理アドレス TLV 30-2
バックアップ スタティック ルーティング 47-12	管理オプション
ラインプロトコル ステート 47-2	CLI 2-1
ルーティング ポリシー、設定 47-12	CNS 3-1
拡張オブジェクト トラッキングのスタティック ルーティ	Network Assistant 1-3
ング 47-10	概要 1-7
拡張システム ID	クラスタリング 1-4
MSTP 21-19	スイッチ スタック 1-3
STP 20-5 , 20-17	管理の簡易性に関する機能 1-7
拡張範囲 VLAN	
作成する 15-12	
設定 15-11	き
設定時の注意事項 15-11	キー発行局
定義済み 15-1	「KDC」を参昭

内部 VLAN ID を指定した作成 **15-14**

キープアライブ メッセージ 20-3

ギガビット モジュール	「候補スイッチ」、「コマンドスイッチ」、「クラスタス
「SFP」を参照 1-27	タンバイ グループ」、「メンバ スイッチ」、「スタンバ イ コマンド スイッチ」も参照
起動	互換性 6-4
手動 4-20	自動回復 6-10
機能、非互換 29-13	自動検出 6-5
逆アドレス解決 42-11	説明 6-1
逆アドレス解決プロトコル	プランニング 6-4
「RARP」を参照	プランニングの考慮事項
共通セッション ID	CLI 6-16
「シングル セッション ID」を参照 11-33	IP アドレス 6-13
許可 VLAN リスト 15-21	LRE プロファイル 6-16
許可ポート、IEEE 802.1x での 11-10	RADIUS 6-16
緊急キュー、QoS の 38-94	SNMP 6-14 , 6-17
	TACACS+ 6-16
,	自動回復 6-10
<	自動検出 6-5
クエリー、IGMP 26-4	スイッチ スタック 6-15
クエリー送信要求、 IGMP 26-13	パスワード 6-14
組み込みイベント マネージャ	ホスト名 6-14
3.2 36-5	利点 1-2
TCL スクリプトの登録と定義 36-7	クラスタ スタンバイ グループ
アクション 36-4	HSRP グループ 44-13
アプレットの登録と定義 36-6	「HSRP」も参照
イベント検出器 36-3	仮想 IP アドレス 6-11
概要 36-1	考慮事項 6-11
環境変数 36-5	自動回復 6-13
情報の表示 36-8	r 義済み 6-2
設定 36-1, 36-6	要件 6-3
ポリシー 36-4	クラスタ内のホスト名 6-14
クライアント プロセス、トラッキング 47-1	$p = \frac{1}{2} \left(\frac{1}{2} \right) \left($
クライアント モード、VTP 16-3	ション・、 ション、 Q05 00 設定する 38-57
クラスタ グループおよび HSRP グループのバイン	説明 38-8
F 44-13	クラスレス ドメイン間ルーティング
クラスタ、スイッチ	「CIDR」を参照
LRE プロファイルの考慮事項 6-16	「CIDK」を参照 クラスレス ルーティング 42-9
アクセスする 6-13	クリアする、インターフェイスを 14-53
管理する	クリティカル VLAN 11-23
CLI を使用して 6-16	クリティカル VEAN 11-23 クリティカル認証、IEEE 802.1x 11-55
SNMP を介して 6-17	ノ ノ / (ハ/ド PID DLL、TEEL OUZ.TA TITOS

グローバルな脱退、IGMP 26-13	<u> </u>
クロススタック EtherChannel	
サポート 1-10	構成設定、保存する 4-17
	高速コンバージェンス 21-10
設定時の注意事項 40-13	高速スパニング ツリー プロトコル
設定する	「RSTP」を参照
レイヤ 2 インターフェイスでの 40-14	候補スイッチ
レイヤ 3 物理インターフェイスでの 40-17 説明 40-3	「コマンド スイッチ」、「クラスタ スタンバイ グルー プ」、「メンバ スイッチ」も参照
10-74	自動検出 6-5
クロススタック UplinkFast、STP Fast Uplink Transition Protocol 22-6	定義済み 6-4
	要件 6-4
イネーブルにする 22-17 高速コンバージェンス イベント 22-7	小型フォーム ファクタ モジュール、着脱可能
前座コンハージェンス イベンド 22-7 サポート 1-10	「SFP」を参照
ジャート 1-10 説明 22-5	互換性、機能 29-13
通常コンバージェンス イベント 22-7	互換性、ソフトウェア
ディセーブルにする 22-17	「スタック、スイッチ」を参照
クロック	コマンド
	no 形式と default 形式 2-4
「システム クロック」を参照	短縮形 2-4
	コマンド、権限レベルを設定する 10-8
け	コマンドスイッチ
♥BA ACOPE 40.0E	アクセスする 6-11
経路集約、OSPF 42-35	アクティブ(AC) 6-10
ケーブル、単方向リンクのモニタリング 31-1	置き換える
ゲスト VLAN および IEEE 802.1x 11-21	クラスタ メンバでの 52-10
権限レベル	別のスイッチとの 52-11
回線に対するデフォルトを変更する 10-9	回復
概要 10-2, 10-7	失われたメンバ接続性からの 52-13
既存の 10-9	コマンド スイッチの障害からの 6-10, 52-9
コマンドスイッチ 6-17	「候補スイッチ」、「クラスタ スタンバイ グループ」、
コマンドを設定する 10-8	「メンバ スイッチ」、「スタンバイ コマンド スイッチ」
メンバ スイッチでのマッピング 6-17	も参照
ロギング 10-9	冗長 6-10
検出、クラスタ	スタンバイ (SC) 6-10
「自動検出」を参照	設定の矛盾 52-13
検出する、間接リンク障害を、STP 22-8	定義済み 6-2
	パスワード権限レベル 6-17
	パッシブ (PC) 6-10
	プライオリティ 6-10

要件 6-3	サービス クラス
コマンドの省略形 2-4	「CoS」を参照
コマンドモード 2-1	サービス プロバイダー ネットワーク
コマンドライン インターフェイス	EtherChannel のレイヤ 2 プロトコル トンネリング 19-10
「CLI」を参照	IEEE 802.1Q トンネリング 19-2
コミュニティ VLAN 18-2, 18-3	カスタマー VLAN 19-2
コミュニティストリング	レイヤ 2 プロトコル 19-9
SNMP 6-14	サービスプロバイダー ネットワーク
概要 35-4	MSTP および RSTP 21-1
クラスタ スイッチの 35-4	再確認間隔、VMPS、変更する 15-32
クラスタでの 6-14	再確認する、ダイナミック VLAN メンバシップ
設定する 6-14, 35-8	存储能の 3、タイテミック VLAN / ンパンック を 15-32
コミュニティ ポート 18-2	最大エージング タイム
コミュニティ リスト、BGP 42-62	MSTP 21-25
壊れたソフトウェア、Xmodem での回復手順 52-2	STP 20-24
混合スタックのソフトウェア イメージ 『Cisco Software Activation and Compatibility	最大数、ポートあたりのデバイスの、ポートベース認
Document』を参照	証 11-38 最大ホップ カウント、MSTP 21-26
混合ポート	
設定 18-14 定義 18-2 コンソール ポート	最適化する、システム リソースを 8-1
	削除する、VLAN を 15-9
	サブドメイン、プライベート VLAN 18-1
RJ-45 14-15	サブネットゼロ 42-8
USB 14-15	サポートされるポートベース認証方式 11-8
コンソール ポート、接続する 2-11	
コンソール メディア タイプ 14-16	L
コンテンツ ルーティング テクノロジー	シーケンス番号、ログ メッセージの 34-8
「WCCP」を参照	シェイプドラウンドロビン
コンフィギュレーション ファイル	「SRR」を参照
交換およびロールバック、注意事項 A-22	時間帯 7-5
作成および使用、注意事項 A-10	時間範囲、ACL での 37-18
パスワード回復のディセーブル時の考慮事項 10-5	け しきい値、トラフィック レベル 29-2
コンフィギュレーション ロギング 2-5	
コンポーネント管理 TLV 30-3	しきい値のモニタリング、IP SLA 45-6
	時刻 DATE LANGE AND
<u> </u>	「NTP とシステム クロック」を参照
5	シスコ エクスプレス フォワーディング
サーバ モード、VTP 16-3	「CEF」を参照
サービス拒絶攻撃 29-1	システム MTU
	IS-IS LSP 42-74

システム MTU および IEEE 802.1Q トンネリング 19-5	システム ルーティング
システム記述 TLV 30-2	IS-IS 42-69
システム機能 TLV 30-2	ISO IGRP 42-69
システム クロック	実行コンフィギュレーション
「NTP」も参照	置き換える A-20, A-21
概要 7-2	保存 4-17
設定する	ロール バックする A-20, A-22
時間帯 7-5	自動 QoS
手動で 7-4	「QoS」を参照
夏時間 7-6	自動 RP、説明 49-7
日時を表示する 7-5	自動アップグレード(auto-upgrade)、スイッチ スタック
システム プロンプト、デフォルト設定 7-7, 7-8	での 5-14
システム名	自動アドバイス(auto-advise)、スイッチ スタックで の 5-15
「DNS」も参照	自動イネーブル化 11-32
手動での設定 7-8	自動回復、クラスタ 6-10
デフォルト設定 7-8	自動検出
システム名 TLV 30-2	「CDP」も参照
システム メッセージ ロギング	考慮事項
Syslog 機能 1-19	CDP 非対応デバイス 6-6
UNIX Syslog サーバ	管理 VLAN 6-7
サポートされる機能 34-14	クラスタ非対応デバイス 6-6
デーモンを設定する 34-12	異なる VLAN 6-7
ロギング機能を設定する 34-13	最新のスイッチ 6-9
イネーブルにする 34-5	接続性 6-5
エラー メッセージの重大度を定義する 34-9	非候補デバイスの先 6-8
概要 34-1	ルーテッド ポート 6-8
機能キーワード、説明 34-14	スイッチ クラスタでの 6-5
シーケンス番号、イネーブルとディセーブル 34-8	自動検知、ポート速度 1-5
スタックの変更、影響 34-2	自動コピー(auto-copy)、スイッチ スタックでの 5-14
設定を表示する 34-17	自動ステート除外 14-6
タイム スタンプ、イネーブルとディセーブル 34-8	自動設定 4-3
ディセーブルにする 34-4	自動抽出(auto-extract)、スイッチ スタックでの 5-14
デフォルト設定 34-4	自動ネゴシエーション
表示宛先デバイスを設定する 34-5	インターフェイス設定時の注意事項 14-30
メッセージの形式 34-2	デュプレックス モード 1-5
メッセージを制限する 34-10	不一致 52-13
レベル キーワード、説明 34-10	自動復旧、クラスタ
ログ メッセージの同期をとる 34-6	「HSRP」も参照
システム リソース、最適化する 8-1	

42-40

重大度、システム メッセージで定義する 34-9	QoS ドメイン内 38-44
柔軟な認証の順序設定	分類オプション 38-5
概要 11-29	信頼できるトランスポート プロトコル、EIGRP
設定する 11-66	
集約アドレス、BGP 42-65	
集約グローバル ユニキャスト アドレス 43-3	す
集約ポート	スイッチ間リンク
「EtherChannel」を参照	「ISL」を参照
集約ポリシング 1-16	スイッチが 43-2
集約ポリシング機能 38-75	スイッチ仮想インターフェイス
受動インターフェイス	「SVI」を参照
OSPF 42-36	スイッチ コンソール ポート 1-8
設定 42-108	スイッチ スタック内の dCEF 42-95
準備状態チェック	スイッチ ソフトウェア機能 1-1
ポートベース認証	スイッチドパケット、ACL 37-43
設定する 11-38	スイッチド ポート 14-3
説明 11-16, 11-38	スイッチド ポート アナライザ
照合、IPv4 ACL の 37-8	「SPAN」を参照
冗長性	スイッチのクラスタ化テクノロジー 6-1
EtherChannel 40-3	「クラスタ、スイッチ」も参照
HSRP 44-1	スイッチ プライオリティ
STP	MSTP 21-23
パス コスト 15-26	STP 20-22
バックボーン 20-9	スーパーネット 42-9
ポート プライオリティ 15-24	スケジューリング、IP SLA 動作 45-5
マルチドロップ バックボーン 22-5	スケジュール、リロードの 4-26
冗長電源システム	スタートアップ コンフィギュレーション
「Cisco Redundant Power System 2300」を参照	起動のデフォルト設定 4-19
冗長リンクと UplinkFast 22-16	クリアする A-20
初期設定	設定ファイル
Express Setup 1-2	自動的にダウンロードする 4-19
デフォルト 1-21	ファイル名を指定する 4-20
シングル セッション ID 11-33	ブーティング
侵入検知システム	手動で 4-20
「IDS 装置」を参照	特定のイメージ 4-22
信頼される境界、QoS の 38-46	スタッキング
信頼状態、ポートの	MACsec 12-3
IP 電話のポート セキュリティを確立する 38-46	スタック、スイッチ
OoS ドメイン間 38-48	auto-advise 5-15

auto-copy 5-14	混合
auto-extract 5-14	Catalyst 3750-E および 3750 スイッチ 5-2
Catalyst 3750-E 専用 5-2	ソフトウェア 5-2
CDP の考慮事項 28-2	ハードウェア 5-2
HSRP の考慮事項 44-5	ハードウェアおよびソフトウェア 5-2
IPv6 43-11	混合管理
MAC アドレス 5-27	『Catalyst 3750-E and 3750 Switch Stacking
MAC アドレスの考慮事項 7-14	Compatibility Guide』を参照
STP	混合ソフトウェア イメージ
サポートされるインスタンス 20-11	『Cisco Software Activation and Compatibility Document』を参照
スタック ルート スイッチの選択 20-4	サポートされる MSTP インスタンス 20-11
ブリッジ ID 20-3	システム全体の設定での考慮事項 5-19
ルート ポートの選択 20-4	システム プロンプトの考慮事項 7-7
Version-Mismatch (VM) モード	システム メッセージ
auto-advise での手動でのアップグレード 5-15	表示のホスト名 34-1
auto-extract でのアップグレード 5-14	リモートでのモニタリング 34-2
auto-upgrade での自動アップグレード 5-14	自動アップグレード 5-14
例 5-15	障害が発生したメンバを置き換える 5-18
アップグレードする A-41	情報を表示する 5-33
あるメンバから別のメンバヘイメージ ファイルをコ ピーする A-41	情報を割り当てる
永続的 MAC アドレス タイマーをイネーブルにす	新メンバのプロビジョニング 5-30
්ත 5-27	プライオリティ値 5-30
オフライン設定	メンバ番号 5-29
新メンバのプロビジョニング 5-30	スタック プロトコル バージョン 5-13
説明 5-9	「スタック マスターとスタック メンバ」も参照
プロビジョニングされるスイッチ、定義済	設定シナリオ 5-21
み 5-9	設定ファイル 5-18
プロビジョニングされるスイッチの置き換えの影 響 5-12	説明 5-2
プロビジョニングされるスイッチの削除の影	ソフトウェア イメージ バージョン 5-13
響 5-12	ソフトウェアの互換性 5-13
プロビジョニングされるスイッチの追加の影	デフォルト設定 5-27
響 5-10	特定のスタック メンバの CLI にアクセスする 5-33
プロビジョニングされる設定、定義済み 5-9	バージョン不一致(VM)モード
管理する 5-1	説明 5-14
管理接続 5-19	パーティション化される 5-5, 52-9
クラスタでの 6-15	ハードウェアの互換性と SDM ミスマッチ モー
互換性、ソフトウェア 5-13	ド 5-12
互換性のないソフトウェアとイメージのアップグレー	ブリッジ ID 5-8
ド 5-17, A-41	プロビジョニングされるスイッチ

置き換える 5-12	選択 5-6
削除する 5-12	定義済み 5-2
追加する 5-10	ブリッジ ID(MAC アドレス) 5-8
マージされる 5-5	スタック メンバ
マルチキャスト ルーティング、スタック マスターお	IPv6 43-11
よびメンバの役割 49-10	置き換える 5-18
メンバシップ 5-4	情報を表示する 5-33
スタックの変更	新メンバのプロビジョニング 5-30
影響	数 5-8
IPv6 ルーティング 43-11	「スタック、スイッチ」も参照
スタックの変更、影響	設定する
ACL 設定 37-8	プライオリティ値 5-30
CDP 28-2	メンバ番号 5-29
EtherChannel 40-10	定義済み 5-2
HSRP 44-5	特定のスタック メンバの CLI にアクセスする 5-33
IEEE 802.1x ポートベース認証 11-11	プライオリティ値 5-9
IGMP スヌーピング 26-7	スタック メンバ番号 14-19
IPv6 ACL 39-4	スタティック IP ルーティング 1-17
IP ルーティング 42-4	スタティック MAC アドレッシング 1-12
MAC アドレス テーブル 7-14	スタティック SSM マッピング 49-20, 49-21
MSTP 21-8	スタティック VLAN メンバシップ 15-2
MVR 26-19	スタティック アクセス ポート
SDM テンプレートの選択 8-4	VLAN に割り当てる 15-10
SNMP 35-1	定義済み 14-3, 15-3
SPAN & RSPAN 32-10	スタティック アドレス
STP 20-13	「アドレス」を参照
VLAN 15-7	スタティック トラフィック転送 49-22
VTP 16-8	スタティック ルーティング 42-3
クロススタック EtherChannel 40-13	スタティック ルーティング サポート、拡張オブジェクト
システム メッセージ ログ 34-2	トラッキング 47-10
スイッチ クラスタ 6-15	スタティック ルーティングのプライマリ インターフェイ
フォールバック ブリッジング 51-3	ス、設定 47-11 スタティック ルート
ポート セキュリティ 29-20	概要 43-7
マルチキャスト ルーティング 49-11	
スタック プロトコル バージョン 5-13	設定 42-98 スタティック ルート プライマリ インターフェイス、設
スタック マスター	スタティック ルート フライマリ インダーフェイス、設 定 47-11
IPv6 43-11	スタブ エリア、OSPF 42-34
再選択 5-6	スタブ ルーティング、EIGRP 42-46
「スタック、スイッチ」も参照	スタンバイ ガループ カラスタ

「クラスタ スタンバイ グループ」と「HSRP」も参照	説明 11-22
スタンバイ コマンド スイッチ	整合性検査、VTP バージョン 2 での 16-5
仮想 IP アドレス 6-11	正常終了応答、VMPS 15-28
「クラスタ スタンバイ グループ」と「HSRP」も参照	生成する、IGMP レポートを 23-4
考慮事項 6-11	セカンダリ VLAN 18-2
設定する	セキュア HTTP クライアント
定義済み 6-2	設定する 10-56
プライオリティ 6-10	表示する 10-56
要件 6-3	セキュア HTTP サーバ
スタンバイ タイマー、HSRP 44-11	設定する 10-54
スタンバイ リンク 23-2	表示する 10-56
スタンバイ ルータ 44-2	セキュア MAC アドレス
スティッキ ラーニング 29-10	最大数 29-10
ストーム制御	削除する 29-18
サポート 1-5	スイッチ スタックと 29-20
しきい値 29-1	タイプ 29-10
設定する 29-3	セキュア シェル
説明 29-1	「SSH」を参照
ディセーブルにする 29-5	セキュア ポート
スヌーピング、IGMP 26-2	スイッチ スタックと 29-20
スパニング ツリーとネイティブ VLAN 15-18	設定する 29-9
スパニング ツリー プロトコル	セキュア リモート接続 10-46
「STP」を参照	セキュリティ機能 1-11
スプリット ホライズン、RIP 42-26	セキュリティ交換プロトコル
スマート ロギング 34-1, 34-14	「SXP」を参照
スモールフレーム着信レート、設定する 29-5	セキュリティ、ポート 29-9
	設計する、ネットワークを、例 1-24
ш.	セッション キー、MKA 12-2
せ	接続性の問題 52-15, 52-17, 52-18
正規の時刻源、説明 7-2	接続、セキュア リモート 10-46
制御プロトコル、IP SLA 45-4	設定可能な脱退タイマー、IGMP 26-6
制限する、アクセスを	設定時の注意事項、Multi-VRF CE 42-83
RADIUS 10-18	設定、初期
TACACS+ 10-10	Express Setup 1-2
概要 10-1	デフォルト 1-21
パスワードと権限レベル 10-2	設定する、スモールフレーム着信レートを 29-5
制限付き VLAN	設定する、ポートベース認証の違反モードを 11-41
IEEE 802.1x で使用する 11-22	設定の置換 A-20
設定する 11-53	設定の矛盾、失われたメンバ接続性から回復する 52-1

設定のロール バック A-20, A-21 そ 設定ファイル 送信元 IP アドレス ベース転送、EtherChannel 40-9 DHCP で取得する 4-9 送信元 IP アドレス ベース転送と宛先 IP アドレス ベース TFTP サーバ アクセスを制限する 35-18 転送、EtherChannel 40-9 アーカイブする A-21 送信元 MAC アドレス転送、EtherChannel 40-9 アップロードする 送信元 MAC アドレス転送と宛先 MAC アドレス転送、 FTP を使用する A-16 EtherChannel 40-9 RCP を使用する A-19 即時脱退、IGMP TFTP を使用する A-13 イネーブルにする 27-9 準備する A-11, A-14, A-17 説明 26-6 理由 A-9 属性、RADIUS コピー時の無効な組み合わせ A-6 ベンダー固有 10-36 システム接点と場所の情報 35-17 ベンダー専用 10-38 実行コンフィギュレーションを置き換える A-20, 属性と値のペア 11-20 A-21 ソフトウェア イメージ 実行コンフィギュレーションをロール バックす tar ファイル形式、説明 A-26 る A-20, A-22 回復手順 52-2 スタートアップ コンフィギュレーションを消去す る **A-20** 「ダウンロードとアップロード」も参照 説明 A-9 フラッシュ内での場所 A-26 タイプと場所 A-10 リロードのスケジューリング 4-26 ダウンロードする ソフトウェアの互換性 FTP を使用する A-15 「スタック、スイッチ」を参照 RCP を使用する A-18 TFTP を使用する A-12 *t*= 自動的に 4-19 準備する A-11, A-14, A-17 ダイナミック ARP インスペクション 理由 A-9 ARP ACL と DHCP スヌーピング エントリのプライ テキスト エディタを使用して作成する オリティ 25-5 ファイル名を指定する 4-20 ARP キャッシュ ポイズニング **25-1** 保存された設定を削除する A-20 ARP スプーフィング攻撃 **25-1** 設定例、ネットワーク 1-24 ARP パケットのレート制限 セットアップ プログラム errdisable ステート 25-5 障害が発生したコマンド スイッチの置換 52-11 25-11 設定 障害が発生したコマンドスイッチを置き換え 説明 25-4 る **52-10** ARP 要求、説明 **25-1** 選択 DHCP スヌーピング バインディング データベー 「スタック マスター」を参照 ス 25-2 DoS 攻擊、回避 25-11

man-in-the middle 攻擊、説明 25-2 トラブルシューティング 15-34 インターフェイス信頼状態 25-3 ダイナミック ルーティング 42-3 ISO CLNS **42-69** 機能 25-2 クリア タイプ オブ サービス 統計情報 25-16 「ToS」を参照 タイム スタンプ、ログ メッセージの 34-8 ログ バッファ 25-16 タイム ドメイン反射率計 設定 着信 ARP パケットのレート制限 25-4, 25-11 「TDR」を参照 ログ バッファ 25-14 ダウンロード可能 ACL 11-19, 11-20, 11-63 ダウンロードする 設定時の注意事項 25-6 設定する イメージ ファイル DHCP 環境での **25-8** CMS を使用する 1-3 非 DHCP 環境の ACL 25-9 FTP を使用する A-33 説明 25-1 HTTP を使用する 1-3, A-25 妥当性チェック、実行 **25-13** RCP を使用する A-38 デフォルト設定 25-6 TFTP を使用する A-28 準備する A-28, A-31, A-37 統計情報 デバイス マネージャまたは Network Assistant を クリア 25-16 使用する A-25 表示 25-16 古いイメージを削除する A-30 ドロップされたパケットのロギング、説明 25-5 理由 **A-25** ネットワーク セキュリティ問題とインターフェイス 信頼状態 25-3 設定ファイル 表示 FTP を使用する A-15 統計情報 25-16 RCP を使用する A-18 レート制限を超過した場合の errdisable ステー TFTP を使用する A-12 **25-5** 準備する A-11, A-14, A-17 ログ バッファ 理由 A-9 クリア 25-16 タグ付きパケット 設定 25-14 IEEE 802.1Q 19-3 ダイナミック アクセス ポート レイヤ2プロトコル 19-8 設定する 15-31 単一方向リンク検出プロトコル 定義済み 14-3 「UDLD」を参照 特性 15-4 短時間でのコンバージェンス 23-3 ダイナミック アドレス 端末回線、パスワードを設定する 10-6 「アドレス」を参照 ダイナミック ポート VLAN メンバシップ つ 再確認する 15-32 接続のタイプ 15-31 ツイストペア イーサネット、単方向リンクを検出す

る **31-1**

説明 15-29

追跡対象オブジェクト	特定機能に対してイネーブルにする 52-21
しきい値重みによる 47-5	デフォルト ゲートウェイ 4-16, 42-14
しきい値パーセントによる 47-6	デフォルト設定
ブール式の使用 47-4	802.1x 11-35
追跡リスト	BGP 42-49
設定 47-3	CDP 28-2
タイプ 47-3	DHCP 24-8
追跡リスト内の重みしきい値 47-5	DHCP オプション 82 24-8
追跡リスト内のパーセントしきい値 47-6	DHCP スヌーピング 24-8
追跡リスト内のブール式 47-4	DHCP スヌーピング バインディング データベース 24-9
	DNS 7-9
て	EIGRP 42-40
ディスタンスベクトル プロトコル 42-3	EtherChannel 40-11
ディスタンス ベクトル マルチキャスト ルーティング プロ	Flex Link 23-9
トコル	HSRP 44-5
「DVMRP」を参照	IEEE 802.1Q トンネリング 19-4
ディスタンスベクトル マルチキャスト ルーティング プロ	IGMP 49-41
トコル	IGMP スヌーピング 26-7, 27-6
「DVMRP」を参照	IGMP フィルタリング 26-26
ディファレンシエーテッド サービス アーキテクチャ、 QoS 38-2	IP SLA 45-6
ディファレンシエーテッド サービス コード ポイン	IPv6 43-12
► 38-2	IP アドレス指定、IP ルーティング 42-7
低密度波長分割多重方式	IP ソース ガード 24-19
「CWDM SFP」を参照	IP マルチキャスト ルーティング 49-11
ディレクトリ	IS-IS 42-71
作業ディレクトリを表示する A-4	LLDP 30-5
作成と削除 A-5	MAC アドレス テーブル 7-14
変更する A-4	MAC アドレス テーブル移動更新 23-9
デスクトップ テンプレート 5-12	MSDP 50-4
デバイス検出プロトコル 28-1, 30-1	MSTP 21-16
デバイス マネージャ	Multi-VRF CE 42-82
説明 1-3, 1-7	MVR 26-21
带域内管理 1-8	OSPF 42-29
利点 1-2	PIM 49-11
デバッグする	RADIUS 10-27
エラー メッセージ出力をリダイレクトする 52-22	RIP 42-23
コマンドを使用する 52-21	RMON 33-3
すべてのシステム診断をイネーブルにする 52-22	RSPAN 32-12

SDM テンプレート 8-5	SDM テンプレートのサポート 43-6
SNMP 35-7	電源
SPAN 32-12	管理 14-46
SSL 10-53	設定 14-46
STP 20-14	電源管理 TLV 30-3
TACACS+ 10-13	転送情報ベース
UDLD 31-4	「FIB」を参照
VLAN 15-8	転送遅延時間
VLAN、レイヤ 2 イーサネット インターフェイ	MSTP 21-25
ス 15-19	STP 20-24
VMPS 15-29	転送保留カウント
VTP 16-9	「STP」を参照
WCCP 48-6	テンプレート、SDM 8-2
イーサネット インターフェイス 14-29	
オプションのスパニング ツリー設定 22-12	٤
音声 VLAN 17-3	2
起動 4-19	同期化、BGP 42-52
システム名とプロンプト 7-8	統計情報
システム メッセージ ロギング 34-4	802.1X 13-17
自動 QoS 38-24	CDP 28-5
初期スイッチ情報 4-3	IEEE 802.1x 11-68
スイッチ スタック 5-27	IP マルチキャスト ルーティング 49-66
ダイナミック ARP インスペクション 25-6	MKA 12-5
パスワードと権限レベル 10-2	OSPF 42-38
バナー 7-11	RMON グループ イーサネット 33-5
標準 QoS 38-37	RMON グループ履歴 33-5
フォールバック ブリッジング 51-4	SNMP 入力と出力 35-20
プライベート VLAN 18-7	VTP 16-19
レイヤ 2 インターフェイス 14-29	インターフェイス 14-52
レイヤ 2 プロトコル トンネリング 19-12	到達可能性、IP SLA IP ホストのトラッキング 47-9
デフォルトネットワーク 42-99	トークンリング VLAN
デフォルトの Web ベース認証の設定	VTP サポート 16-5
802.1X 13-9	サポート 15-6
デフォルト ルーティング 42-3	独立 VLAN 18-2, 18-3
デフォルトルート 42-99	独立ポート 18-2
デュアル IPv4/IPv6 テンプレート 8-3, 43-6	都市ロケーション 30-3
デュアルアクションの検出 40-6	ドメイン、ISO IGRP ルーティング 42-69
デュアル プロトコル スタック	ドメイン ネーム システム
IPv4 & IPv6 43-6	「DNS」を参照

ドメイン名 ISL **15-16** DNS **7-8** 許可 VLAN リスト 15-21 VTP **16-10** 設定 **15-20**, **15-26** トラストポイント、CA 10-51 タグなしトラフィック用ネイティブ VLAN 15-23 トラッキング、IP ルーティング ステートの 47-2 パラレル 15-26 トラッキング、インターフェイス ラインプロトコルス 非 DTP デバイスに対する 15-16 テートの 47-2 プルーニング適格リスト 15-22 トラッキング プロセス 47-1 ロード シェアリング トラック ステート、IP SLA のトラッキング 47-9 STP パス コストを設定する 15-26 トラップ STP ポート プライオリティを使用する 15-24, 15-25 MAC アドレス通知を設定する **7-15**, **7-17**, **7-18** イネーブルにする **7-15, 7-17, 7-18, 35-13** トランク フェールオーバー 「リンクステート トラッキング」を参照 概要 35-1, 35-4 通知タイプ 35-13 トランク ポート マネージャを設定する 35-13 カプセル化 15-20, 15-26 トラップ ドア メカニズム 4-2 設定する 15-20 トラフィック 定義済み 14-4, 15-3 非フラグメント化 37-6 トランスペアレント モード、VTP 16-4 フラグメント化 37-6 トンネリング IEEE 802.1Q 19-2 フラッドのブロッキング 29-8 分割 IPv6 39-3 定義 19-1 レイヤ2プロトコル 19-9 トラフィックの抑制 29-1 トラフィック ポリシング 1-16 トンネル ポート トラブルシューティング IEEE 802.1Q、設定 19-7 CiscoWorks での 35-4 説明 14-4, 19-2 CPU 使用率 **52-30** 他の機能との非互換性 19-6 debug コマンド **52-21** PIMv1 および PIMv2 の相互運用性の問題 49-37 な ping による **52-15** SFP セキュリティと識別情報 **52-14** 内部電源装置 show forward コマンド **52-23** 「電源装置」を参照 traceroute での **52-18** 内部ネイバー、BGP 42-52 クラッシュ情報を表示する 52-25 夏時間 7-6 システム メッセージ ロギングでの 34-1 等コストルーティング **1-17,42-97** 接続性の問題 52-15, 52-17, 52-18 名前付き IPv4 ACL 37-16 単方向リンクを検出する 31-1 名前付き IPv6 ACL 39-3 パケット転送を設定する **52-23** 並べ替え、ACL エントリ 37-16 トランキングのカプセル化 1-11

トランク

に 二重タグ パケット	ネイバー探索、IPv6 43-4 ネイバー探索および回復、EIGRP 42-39		
	ネットワーク管理		
IEEE 802.1Q トンネリング 19-2	CDP 28-1		
レイヤ 2 プロトコル トンネリング 19-11	RMON 33-1		
認可	SNMP 35-1		
RADIUS での 10-34	ネットワーク タイム プロトコル		
TACACS+ での 10-11, 10-16	「NTP」を参照		
認証	ネットワークの設計		
AAA でのローカル モード 10-44	サービス 1-25		
EIGRP 42-45	パフォーマンス 1-25		
HSRP 44-11	ネットワークの設定例		
Open1x 11-29	Multiple-Dwelling ネットワーク 1-37		
RADIUS	サーバ集約と Linux サーバ クラスタ 1-30		
キー 10-28	冗長ギガビット バックボーン 1-30		
ログイン 10-30	大規模ネットワーク 1-34		
TACACS+	高パフォーマンス ワイヤリング クローゼット 1-28		
キー 10-13	中小規模ネットワーク 1-32		
定義済み 10-11	長距離、広帯域トランスポート 1-38		
ログイン 10-14 「ポートベース認証」を参照 認証キー、ルーティング プロトコル 42-110	ネットワーク パフォーマンスを改善する 1-24 ネットワーク サービスを提供する 1-25 費用対効果が高いワイヤリング クローゼット 1-27		
		認証失敗 VLAN	ネットワーク パフォーマンス、IP SLA で測定す
		「制限付き VLAN」を参照	る 45-3
認証マネージャ	ネットワーク ポリシー TLV 30-2		
CLI コマンド 11-9	ネットワーク エッジ アクセス トポロジ		
以前の 802.1x CLI コマンドとの互換性 11-9	「NEAT」を参照		
概要 11-8	ネットワーク デバイス アドミッション コントロール		
旧 802.1x CLI コマンドとの互換性 11-10	(NDAC) 12-9		
シングル セッション ID 11-33			
	は		
ね	バージョン依存のトランスペアレント モード 16-5		
ライテ , ブ VI AN	バージョン不一致(VM)モード		
ネイティブ VLAN	説明 5-14		
IEEE 802.1Q トンネリング 19-4	表示 5-14		
設定する 15-23	バーチャル プライベート ネットワーク		
デフォルト 15-23	「VPN」を参照		
ネイバー、BGP 42-63	ハードウェアの制限とレイヤ3インターフェイス 14-40		

バインディング	ログイン 7-12
DHCP スヌーピング データベース 24-6	デフォルト設定 7-11
IP ソース ガード 24-17	表示時 7-10
アドレス、Cisco IOS DHCP サーバ 24-6	パフォーマンス機能 1-5
バインディング データベース	パフォーマンス、ネットワークの設計 1-24
DHCP スヌーピング	パラレル パス、ルーティング テーブル内 42-97
「DHCP スヌーピング バインディング データベー	範囲
ス」を参照	インターフェイスの 14-21
アドレス、DHCP サーバ	マクロ 14-23
「DHCP、Cisco IOS サーバ データベース」を参 照	
バインディング テーブル、DHCP スヌーピング	V
「DHCP スヌーピング バインディング データベース」	de ID () =
を参照	非 IPv6 トラフィック、フィルタリング 39-4
パケットの変更、QoS での 38-22	非 IP トラフィック フィルタリング 37-30
パス MTU 検出 43-4	ピア、BGP 42-63
パス コスト MSTP 21-22	非階層型ポリシー マップ
STP 20-21	設定 38-62
パスワード	設定時の注意事項 38-40
	説明 38-10
VTP ドメイン 16-10	光ファイバ、単一方向リンクの検出 31-1
暗号化 10-3	非対称リンク、IEEE 802.1Q トンネリング 19-4
回復 52-3	非トランキング モード 15-17
回復をディセーブルにする 10-5 概要 10-1	非認識 Type-Length-Value (TLV) サポート 16-5
例 会 10-1 クラスタでの 6-14	標準範囲 VLAN 15-4 設定時の注意事項 15-6
クノヘク(の 6-14 セキュリティ 1-12	設定する 15-4
シェイユックィ 1-12 設定する	成たりの 15-4 定義済み 15-1
Telnet 10-6	に我伯の 13-1
イネーブル 10-3	
シークレットをイネーブルにする 10-3	స్త
ユーザ名での 10-7	ファイル
デフォルト設定 10-2	crashinfo、説明 52-25
バックアップ インターフェイス	tar
「Flex Link」を参照	イメージファイルの形式 A-26
バックアップ スタティック ルーティング、設定 47-12	作成する A-7
バックアップ リンク 23-2	抽出する A-8
バナー	内容を表示する A-7
設定する	拡張 crashinfo
Message-of-the-Day ログイン 7-11	説明 52-26

場所 52-26	VLAN ブリッジ スパニングツリー プライオリ ティ 51-6
基本 crashinfo	インターフェイスでディセーブル 51-10
説明 52-25	インターフェイス プライオリティ 51-7
場所 52-25	
コピーする A-5	キープアライブ メッセージ 20-3
削除 A-6	最大アイドル時間 51-10
内容を表示する A-8	転送遅延時間 51-9
ファイル システム	パス コスト 51-8
使用可能なファイル システムを表示する A-2	SVI およびルーテッド ポート 51-1
デフォルトを設定する A-3	VLAN ブリッジ STP 20-12
ネットワーク ファイル システム名 A-5	インターフェイスを接続する 14-14
ファイル情報を表示する A-4	概要 51-1
ローカル ファイル システム名 A-1	サポート 1-17
不一致、自動ネゴシエーション 52-13	サポートされていないプロトコル 51-4
フィルタ、IP	スタックの変更、影響 51-3
「ACL、IP」を参照	設定時の注意事項 51-4
フィルタリング	説明 51-1
IPv6 トラフィック 39-4, 39-8	デフォルト設定 51-4
show コマンドと more コマンドの出力 2-10	ブリッジ グループ
VLAN での 37-33	機能 51-2
非 IP トラフィック 37-30	削除 51-5
フィルタリング、show コマンドと more コマンドの出力	作成 51-4
Ø 2-10	サポートされる数 51-5
ブーティング	説明 51-2
特定のイメージ 4-22	フレーム転送
ブートプロセス 4-2	パケット転送 51-2
ブートローダー、機能 4-2	パケットのフラッディング 51-2
ブートストラップ ルータ(BSR)、説明 49-7	プロトコル、未サポート 51-4
ブート ローダー	保護ポート 51-4
アクセス 4-23	複数認証 11-12
環境変数 4-23	物理ポート 14-3
説明 4-2	プライオリティ
トラップ ドア メカニズム 4-2	CoS の上書き 17-7
プロンプト 4-23	CoS を信頼する 17-7
フェールオーバー サポート 1-9	HSRP 44-8
フォールバック ブリッジング	プライベート VLAN
STP	IP アドレス指定 18-3
hello BPDU インターバル 51-9	SDM テンプレート 18-4
VLAN ブリッジ STP 51-2	SVI 18-5

エンドステーション アクセス 18-3	プルーニング、VTP
コミュニティ VLAN 18-2, 18-3	イネーブルにする
コミュニティ ポート 18-2	VTP ドメインで 16-16
混合ポート 18-2	ポート上での 15-22
サブドメイン 18-1	概要 16-6
スイッチ スタック 18-6	ディセーブルにする
セカンダリ VLAN 18-2	VTP ドメインで 16-16
設定 18-11	ポート上での 15-23
設定作業 18-6	例 16-7
設定時の注意事項 18-7, 18-9	プルーニング適格リスト
デフォルト設定 18-7	VLAN 16-17
独立 VLAN 18-2, 18-3	VTP プルーニングの 16-6
独立ポート 18-2	変更する 15-22
トラフィック 18-5	プレフィクス リスト、BGP 42-60
複数のスイッチ間 18-4	フロー制御
プライマリ VLAN 18-2, 18-3	設定する 14-33
ポート	説明 14-32
コミュニティ 18-2	フローチャート
混合 18-2	QoS 出力キューイングとスケジューリング 38-19
混合ポートの設定 18-14	QoS 入力キューイングとスケジューリング 38-16
設定時の注意事項 18-9	QoS 分類 38-7
独立 18-2	QoS ポリシングとマーキング 38-11
ホストポートの設定 18-13	ブロードキャスト ストーム 29-1, 42-16
マッピング 18-15	ブロードキャストのフラッディング 42-19
モニタリング 18-16	ブロードキャスト パケット
利点 18-1	ダイレクト 42-16
プライベート VLAN エッジ ポート	フラッディング 42-16
「保護ポート」を参照	フローベース パケット分類 1-16
プライマリ VLAN 18-2, 18-3	プロキシARP
プライマリ リンク 23-2	IP ルーティングがディセーブル 42-13
フラッシュ デバイス、番号 A-1	設定 42-13
フラッドトラフィック、ブロッキング 29-8	定義 42-11
ブリッジ グループ	プロキシ レポート 23-4
「フォールバック ブリッジング」を参照	ブロッキング パケット 29-8
ブリッジドパケット、ACL 37-44	プロトコル依存モジュール、EIGRP 42-40
ブリッジ プロトコル データ ユニット	プロトコル ストーム保護 29-21
「BPDU」を参照	プロビジョニング、スイッチ スタックの新メンバ の 5-9
	プロファイル外マークダウン 1-16

^	設定時の注意事項 29-12	
	説明 29-9	
ペイロード暗号化 1-1	デフォルト設定 29-12	
ヘルプ、コマンドライン 2-3	トランク ポートでの 29-15	
編集機能	プライベート VLAN の 29-20	
イネーブルとディセーブル 2-7	他の機能 29-12	
使用されたキーストローク 2-7	ポートチャネル	
ラップされた行 2-9	「EtherChannel」を参照	
	ポートの信頼状態	
	<u>サポート 1-16</u>	
•	ポート プライオリティ	
防止する、不正アクセスを 10-1	MSTP 21-21	
ボーダー ゲートウェイ プロトコル	STP 20-19	
「BGP」を参照	ポート ブロッキング 1-5, 29-8	
ポート	ポートベース認証	
10 ギガビット イーサネット 14-7	EAPOL-Start フレーム 11-6	
VLAN の割り当て 15-10	EAP-Request/Identity フレーム 11-6	
アクセス 14-3	EAP-Response/Identity フレーム 11-6	
スイッチ 14-3	VLAN 割り当て	
スタティック アクセス 15-3, 15-10	AAA 認証 11-42	
セキュア 29-9	設定タスク 11-17	
ダイナミック アクセス 15-4	説明 11-16	
トランク 15-3, 15-16	特性 11-16	
ブロッキング 29-8	Wake-on-LAN、説明 11-27	
保護される 29-6	アカウンティング 11-14	
ルーテッド 14-4	アクセス不能認証バイパス	
ポート ACL	設定する 11-55	
タイプ 37-4	説明 11-23	
定義 37-3	注意事項 11-37	
ポート VLAN ID TLV 30-2	イネーブル化	
ポート記述 TLV 30-2	802.1x 認証 13-11	
ポート シャットダウン応答、VMPS 15-28	音声 VLAN	
ポート セキュリティ	PVID 11-26	
QoS 信頼境界と 38-46	VVID 11-26	
違反 29-10	説明 11-26	
エージング 29-19	音声認識 802.1x セキュリティ	
スタック構成と 29-20	設定する 11-39	
スティッキ ラーニング 29-10	説明 11-33, 11-39	
設定 29-13	開始およびメッセージ交換 11-6	

カプセル化 11-3	設定 11-65
クライアント、定義 11-3, 13-2	設定する 11-63
ゲスト VLAN	デバイスの役割 11-3, 13-2
設定時の注意事項 11-22, 11-23	デフォルト値へのリセット 11-68
説明 11-21	デフォルト設定 11-35, 13-9
柔軟な認証の順序設定	統計情報の表示 11-68, 13-17
概要 11-29	統計情報、表示する 11-68
設定する 11-66	認証サーバ
準備状態チェック	RADIUS サーバ 11-3
設定する 11-38	定義 11-3, 13-2
説明 11-16, 11-38	複数認証 11-12
スイッチ	方式リスト 11-41
RADIUS クライアント 11-3	ポート
プロキシとして 11-3, 13-2	音声 VLAN 11-26
スイッチ サプリカント	許可および無許可 11-10
概要 11-31 設定する 11-61	許可ステートおよび dot1x port-control コマンド 11-11
スタックの変更、影響 11-11	ポートあたりのデバイスの最大数 11-38
設定	ポート セキュリティ
RADIUS サーバ 11-44, 13-12	説明 11-27
違反モード 11-41	ホストモード 11-12
スイッチからクライアントへの再送信時	マジック パケット 11-27
間 11-48	マルチ ホスト モード、説明 11-12
スイッチからクライアントへのフレーム再送信回	ユーザ単位 ACL
数 11-49	AAA 許可 11-42
スイッチ上の RADIUS サーバ パラメー タ 11-43, 13-11	設定タスク 11-18
待機時間 11-47	説明 11-17
設定時の注意事項 11-36, 13-9	ユーザ単位の ACL
設定する	RADIUS サーバ属性 11-18
802.1x 認証 11-41	ユーザ ディストリビューション
アクセス不能認証バイパス 11-55	概要 11-25
クライアントの手動での再認証 11-47	注意事項 11-26
ゲスト VLAN 11-52	ポートベース認証方式、サポートされる 11-8
制限付き VLAN 11-53	ポート メンバシップ モード、VLAN 15-3
定期的な再認証 11-46	保護ポート 1-12, 29-6
ホスト モード 11-44	補助 VLAN
説明 11-1	「音声 VLAN」を参照
ダウンロード可能 ACL とリダイレクト URL	ホスト、ダイナミック ポートでの制限 15-34
#### 44 40 44 04	ホスト ポート

概要 11-19 ~ 11-21

種類 18-2	マッピング テーブル、 QoS の
設定 18-13	設定する
ホストモード、MACsec 12-4	CoS/DSCP 38-77
ポリシーベース ルーティング	DSCP 38-77
「PBR」を参照	DSCP/CoS 38-80
ポリシーマップ、QoS の	DSCP/DSCP 変換 38-81
SVI での階層	IP precedence/DSCP 38-78
設定時の注意事項 38-40	ポリシング済み DSCP 38-79
設定する 38-67	説明 38-13
説明 38-12	マルチ VRF CE
階層 38-9	表示 42-94
説明 38-8	モニタリング 42-94
特性 38-62	マルチキャスト TV アプリケーション 26-19
物理ポートでの非階層	マルチキャスト VLAN 26-18
設定時の注意事項 38-40	マルチキャスト VLAN レジストレーション
説明 38-10	「MVR」を参照
物理ポートの非階層型	マルチキャスト VRF の設定 42-88
設定 38-62	マルチキャスト グループ
ポリシング	加入 26-3
階層	スタティックな加入 26-11, 27-8
「階層型ポリシー マップ」を参照	即時脱退 26-6
説明 38-4	脱退 26-5
トークン バケット アルゴリズム 38-10	マルチキャスト ストーム 29-1
ポリシング機能	マルチキャスト パケット
数 38-41	ACL 37-45
設定する	ブロッキング 29-8
各一致トラフィック クラスでの 38-62 複数トラフィック クラスでの 38-75	マルチキャスト ルータ インターフェイス、モニタリング 26-17
説明 38-4	マルチキャスト ルータ ポート、追加する 26-10, 27-9
タイプ 38-10	マルチドメイン認証
ポリシング済み DSCP マップ、QoS での 38-79	「MDA」を参照
<u></u> ま	<u>み</u>
	ミニ アクセス ポイント
マーキング	「POP」を参照
集約ポリシング機能でのアクション 38-75	ミニタイプ USB コンソール ポート 14-15

説明 **38-4, 38-9**

マジック パケット 11-27

ポリシーマップのアクション 38-62

ミラーリング トラフィック、分析用の 32-1

<u>t</u>	ルート 42-111
· ·	IP SLA 動作 45-13
無許可ポート、IEEE 802.1x での 11-10	IPv4 ACL 設定 37-46
矛盾、設定 52-13	IPv6 43-28
	IPv6 ACL 設定 39-9
ъ	IS-IS 42-79
め	ISO CLNS 42-79
メッセージ、ユーザに対するバナーを使用した 7-10	MAC アドレス テーブル移動更新 23-14
メトリック、BGP 内 42-57	MSDP ピア 50-19
メトリック変換、ルーティング プロトコル間 42-103	OSPF 42-38
メトロ タグ 19-2	RP マッピング情報 49-37
メモリの整合性検査ルーチンの使用 52-26	SFP ステータス 52-15
メンバシップ モード、VLAN ポート 15-3	Source-Active メッセージ 50-19
メンバ スイッチ	SSM マッピング 49-23
失われた接続性から回復する 52-13	VLAN 15-15
管理する 6-16	フィルタ 37-47
「候補スイッチ」、「クラスタ スタンバイ グループ」、	マップ 37-47
「スタンバイ コマンド スイッチ」も参照	VMPS 15-33
自動検出 6-5	VTP 16-19
定義済み 6-2	アクセス グループ 37-46
パスワード 6-13	インターフェイス 14-52
要件 6-4	オブジェクト トラッキング 47-13
	機能 1-19
	スイッチ間でのトラフィック フロー 33-1
ט	速度モードとデュプレックス モード 14-32
モジュール番号 14-19	単方向リンク用のケーブル 31-1
モニタリング	トラフィックの抑制 29-23
BGP 42-68	トンネリング 19-19
CDP 28-5	フォールバック ブリッジング 51-11
CEF 42-96	プライベート VLAN 18-16
EIGRP 42-47	プローブでの分析用のネットワーク トラフィッ
Flex Link 23-14	ク 32-2
HSRP 44-13	マルチ VRF CE 42-94
IEEE 802.1Q トンネリング 19-19	マルチキャスト ルータ インターフェイス 26-17
IGMP	レイヤ 2 プロトコル トンネリング 19-19
スヌーピング 26-17, 27-12	
IP	, do
アドレス テーブル 42-20	Ф
マルチキャストルーティング 49-65	ユーザ単位 ACL と Filter-Id 11-9

ユーザ データグラム プロトコル リモート ネットワーク モニタリング 「UDP」を参照 「RMON」を参照 ユーザ名ベース認証 10-7 履歴 優先処理、トラフィックの コマンドを呼び出す 2-6 「QoS」を参照 説明 2-6 優先遅延、デフォルト設定 23-9 ディセーブルにする 2-7 優先、デフォルト設定 23-9 バッファ サイズを変更する 2-6 誘導ユニキャスト要求 1-8 履歴テーブル、Syslog メッセージのレベルと番 号 34-10 ユニキャスト MAC アドレス フィルタリング 1-8 リロードする、ソフトウェアを 4-26 **CPU** パケットと **7-21** リンク冗長性 スタティック アドレスを追加する 7-21 「Flex Link」を参照 設定時の注意事項 7-21 リンクステート トラッキング 説明 7-21 設定する 40-28 ブロードキャスト MAC アドレスと 7-21 説明 40-25 マルチキャストアドレスと 7-21 リンクステート プロトコル 42-3 ルータ MAC アドレスと 7-21 リンク、単方向 31-1 ユニキャストストーム 29-1 リンクの失敗、単一方向の検出 21-8 ユニキャスト トラフィック、ブロッキング 29-8 リンク ローカル ユニキャスト アドレス 43-4 ユニバーサル ソフトウェア イメージ 1-1 隣接テーブル、CEF **42-96** フィーチャ セット IP サービス 1-2 IP ベース 1-2 る ルータ ACL ょ タイプ 37-5 定義 37-3 予約アドレス、DHCP プールでの **24-29** ルータ ID、OSPF 42-38 ルーティング IJ 情報の再配信 42-100 スタティック 42-3 リークする、IGMP レポートを 23-4 ダイナミック **42-3** リセット、BGP 内 **42-54** デフォルト 42-3 リダイレクト URL 11-19, 11-20, 11-63 ルーティングできないプロトコルの転送 51-1 11-19, 11-20, 11-63 ルーティング ドメイン連合、BGP 42-66 リトライ回数、VMPS、変更する **15-33** ルーティング プロトコルのアドミニストレーティブ ディ リモート SPAN 32-3 スタンス 42-98 「RSPAN」を参照 ルーテッド パケット、ACL 37-45 リモート コピー プロトコル ルーテッド ポート 「RCP」を参照 IP アドレス 14-40, 42-6

スイッチ クラスタでの 6-8	レイヤ 2 インターフェイス、デフォルト設定 14-29		
設定 42-5	レイヤ 2 フレーム、CoS での分類 38-2		
定義済み 14-4	レイヤ 2 プロトコル トンネリング		
ルート ガード	EtherChannel の設定 19-15		
イネーブルにする 22-18	設定 19-11		
サポート 1-10	注意事項 19-12		
説明 22-10	定義 19-9		
ルート計算タイマー、OSPF 42-36	デフォルト設定 19-12		
ルートスイッチ	レイヤ 2 プロトコル パケットのシャットダウンしきい		
MSTP 21-19	值 19-12		
STP 20-17	レイヤ 2 プロトコル パケットのドロップしきい 値 19-12		
ルート選択、BGP 42-56	レイヤ3インターフェイス		
ルート ターゲット、VPN 42-82	IPv4 アドレスと IPv6 アドレスを割り当てる 43-15		
ルート ダンプニング、BGP 42-67	IPv6 アドレスを割り当てる 43-13		
ルートマップ	IP アドレスの割り当て 42-8 タイプ 42-5 レイヤ 2 モードからの変更 42-86 レイヤ 3 機能 1-17 レイヤ 3 パケット、分類方式 38-2 レポート抑制、IGMP		
BGP 42-58 ポリシーベース ルーティング 42-104 ルート リフレクタ、BGP 42-66 ループ ガード イネーブルにする 22-19			
		サポート 1-10	説明 26-6
		説明 22-11	ディセーブルにする 26-16, 27-12
		n	
		例	3
ネットワーク設定 1-24	ローカル SPAN 32-2		
レイヤ 2 traceroute	ロード バランシング 44-4		
1 ポートに複数のデバイス 52-18	ロギング メッセージ、ACL 37-10		
ARP 52-17	ログイン認証		
ARP 52-17 CDP 52-17	RADIUS での 10-30		
	TACACS+ での 10-14		
IP アドレスおよびサブネット 52-17 MAC アドレスおよび VLAN 52-17 使用上の注意事項 52-17 説明 52-17	ログイン バナー 7-10		
	ログ メッセージ		
	「システム メッセージ ロギング」を参照		
	ロケーション TLV 30-3		
ブロードキャスト トラフィック 52-17			
マルチキャストトラフィック 52-17			
ユニキャスト トラフィック 52-17			

ゎ

ワイヤード ロケーション サービス

概要 30-3

設定する 30-10

表示する 30-11

ロケーション TLV 30-3